令和５年度新宿御苑管理事務所等防災機能強化改修工事

環境省 自然環境局 新宿御苑管理事務所

工事名称	令和５年度新宿御苑管理事務所等防災機能強化改修工事			工事年度	令和６年度	
工事場所	東京都新宿区内藤町11			図面名称		
発注機関	環境省 新宿御苑管理事務所			縮 尺		
公園名称	新宿御苑			図面番号		
検 印	管理建築士	設 計	新 岡	設計者	名 称	宇建築設計事務所一級建築士事務所
					資格者氏名	岡本 功子
					登録番号	一級建築士 356094号
					所在地	神奈川県川崎市高津区久末1776-1-420

□ 意匠

通し番号	図面番号	図面名称	縮尺
1	A-01	図面リスト	N.S
2	A-02	建築概要・特記仕様書1	N.S
3	A-03	建築工事特記仕様書2	N.S
4	A-04	建築工事特記仕様書3	N.S
5	A-05	建築工事特記仕様書4	N.S
6	A-06	建築工事特記仕様書5	N.S
7	A-07	建築工事特記仕様書6	N.S
8	A-08	建築工事特記仕様書7	N.S
9	A-09	工事区分	N.S
10	A-10	工事概要	N.S
11	A-11	仕上表1	N.S
12	A-12	1階平面図 撤去・改修図	1/200
13	A-13	立面図　撤去・改修図	1/200
14	A-14	断面図	
15	A-15	屋根伏図　撤去・改修図	1/200
16	A-16	天井伏図　撤去・改修図	1/200
17	A-17	客用トイレ展開図,事務室会議室腰壁詳細図	1/50,30
18	A-18	矩計図1	1/40
19	A-19	矩計図2	1/40
20	A-20	OAフロア割付図	1/100
21	A-21	倉庫兼作業場　撤去・改修図	1/200,40
22	A-22	トップライト廻り・雑詳細図	1/200,20,8
23	A-23	仮設計画図1	1/200
24	A-24	仮設計画図2	1/200

□ 構造

通し番号	図面番号	図面名称	縮尺

□ 電気設備

通し番号	図面番号	図面名称	縮尺
20	E-01	電気設備特記仕様書	N.S
21	E-02	凡例	N.S
22	E-03	高圧受電設備単線結線図	N.S
23	E-04	太陽光発電設備　外構図	1/1000
24	E-05	太陽光発電設備　特記仕様書	N.S
25	E-06	太陽光発電設備　単線結線図	N.S
26	E-07	太陽光発電設備　機器姿図	N.S
27	E-08	分電盤表	N.S
28	E-09	太陽光発電設備　管理事務所１階平面図	1/200
29	E-10	太陽光発電設備　管理事務所屋根伏図	1/200
30	E-11	太陽光発電設備　倉庫兼作業場屋根伏図	1/200,40
31		断面図	
32	E-12	太陽光発電設備　既設結線図（撤去図）	1/200
33	E-13	太陽光発電設備　機器姿図（撤去図）	1/200

□ 機械設備・給排水衛生設備

通し番号	図面番号	図面名称	縮尺

※スケールはA3用紙のスケールを表す

工事名称	令和５年度新宿区第四管理事務所等効率化増築改修工事			工事年度	令和６年度
工事場所	東京都新宿区内藤町11			図面名称	図面リスト
発注機関	環境省　新宿御苑管理事務所			縮　尺	N.S
公園名称	新宿御苑			図面番号	A-01
検　印	管理建築士	設　計	審　査	設計者	名　称	宇建築設計事務所一級建築士事務所
					資格者氏名	岡本　功子
					登録番号	一級建築士　356094号
					所在地	神奈川県川崎市高津区久末1778-1-420

特記仕様書

Ⅰ 工事概要

1. 工事場所　東京都新宿区内藤町11

2. 敷地面積　583,061.13㎡

3. 工事種目　1. 令和5年度新宿御苑管理事務所等防災機能強化改修工事 鉄骨造地上1階建 一式
建築面積　14,183.46㎡（うち改修建築物 705.13㎡、150.00㎡）
延べ床面積　14,455.59㎡（申請建築物 691.13㎡、150.00㎡）

2. 上記に伴う、電気及び機械設備工事　一 式

3. 令和5年度新宿御苑管理事務所等防災機能強化改修工事　一 式

4. 指定部分　・有(○)無　対象部分（　　）
指定部分工期　年　月　日

5. 工事範囲
※「3. 工事種目」すべてを工事範囲とする。
・「3. 工事種目」のうち　　の工事範囲は下記表のとおりとする。
ただし、他の工事種目はすべて今回工事範囲とする。

2. 仮設工事	すべて
3. 土工事	すべて
4. 地業工事	対象外
5. 鉄筋工事	対象外
6. コンクリート工事	対象外
7. 鉄骨工事	対象外
8. ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ・ALCパネル 押出成形セメント板工事	対象外
9. 防水工事	すべて
10. 石工事	対象外
11. タイル工事	対象外
12. 木工事	対象外
13. 屋根及びとい工事	すべて
14. 金属工事	対象外
15. 左官工事	対象外
16. 建具工事	対象外
17. カーテンウォール工事	対象外
18. 塗装工事	すべて
19. 内装工事 ～ 23.植栽及び屋上緑化工事	対象外
24. その他	すべて

Ⅱ. 建築工事仕様

(1)図面及び本特記仕様に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の下記仕様書等のうち、○を付けたものを適用する。
・公共建築工事標準仕様書(建築工事編)令和4年版(以下、「標準仕様書」という。)
・建築工事標準詳細図(令和4年版)(以下、「標準詳細図」という。)
・建築物保休工事共通仕様書(令和4年版)

(2)電気設備工事及び機械設備工事を本工事に含む場合は、電気設備工事及び機械設備工事は、それぞれの工事特記仕様書を適用する。なお、電気設備工事の特記仕様書は(　／　)図、機械設備工事の特記仕様書は(　／　)図による。

(3)本特記仕様書の表記
1)項目は、◎印のついたものを適用する。
2)特記事項は、　○印のついたものを適用する。
◎印のついない場合は、※印のついたものを適用する。
○印と※印のついた場合は、共に適用する。
3)特記事項に記載の(　)内表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。
4)◎印は、「医等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」(平成12年法律第100号)に基づく「環境物品等の調達の推進に関する基本方針(平成31年2月3日変更閣議決定)」に定める特定調達物品における判断の基準(特定調達品目「公共工事」においては表(中の品目ごとの判断の基準)を満たすものを示す。

グリーン購入法に基づく、環境物品等の調達に関する基本方針(以下「基本方針」という)(環境省ホームページに掲載)(毎年2月改定)において位置づけられた、「特定調達品目」に該当する材料及び建設機械等は、原則として基本方針に定める判断基準を満足するものを使用することとする。
なお、やむをえず判断基準に満たないものを使用する場合は、監督職員の承諾を受けるものとする。
また、「特定調達品目」の調達の実績(設備及び公共工事)について、当該年度の調達実績集計表(物品・役務及び公共工事)を環境省ホームページからダウンロードし、Excelファイルで作成し、提出する。

(4)「公共建築物等における木材の利用の促進に関する法律」に基づき、国立公園等施設の木材利用調査について、木材利用調査委領により、Excelファイルで作成し、提出する。

章	項目	特記事項

1 一般共通事項

◎ 適用区分

○建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。
・風圧力
風速(Vo= 30m/s)
地表面粗度区分(・Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ○Ⅳ)
○積雪荷重
平成12年5月31日　建設省告示第1455号における区域　別表(十八)

◎ 環境への配慮　(1.4.1)

(1)建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の①から③を満たすものとする。
① 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセ アルデヒド及びスチレンを発散しない又は発散が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。
② 接着剤及び塗料は、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。
③ 接着剤は、可塑性(フタル酸ジ－n－ブチル及びフタル酸ジ－2－エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑剤を除く)が添加されていない材料を使用する。
④ ①の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類は、ホルムアルデヒド、アセ アルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。
(2)設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分において、「規制対象外」とは次の①又は②に該当する材料を指し、同区分「第三種」とは次の③又は④に該当する材料を指す。
①建築基準法施行令第20 条の7第1項に定める第一種、第二種及び第三種ホルムアルデヒド発散建築材料以外の材料
②建築基準法施行令第20 条の7第4項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料
③建築基準法施行令第20 条の7第1項に定める第三種ホルムアルデヒド発散建築材料
④建築基準法施行令第20 条の7第3項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料

◎ 材料の品質等　(1.4.2)

(1)本工事に使用する材料は、設計図書に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。
(2)備考欄に商品名が記載された材料は、同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は監督職員の承諾を受ける。
(3)標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。
(4)本工事に使用する材料のうち、(5)に指定する材料の製造業者等は、次の①から⑥すべての事項を満たすものとし、この証明となる資料又は外部機関が発行する品質及び性能等が評価されたことを示す書面を提出して監督職員の承諾を受ける。ただし、製造業者等名が記載されているものは、証明となる資料等の提出を省略することができる。
①品質及び性能に関する試験データを整備していること。
②生産施設及び品質の管理を適切に行っていること。
③安定的な供給が可能であること。
④法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。
⑤製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。
⑥販売、保守等の営業体制を整えていること。
(5)製造業者等に関する資料の提出を求める材料

. 室内空気中の化学物質の濃度測定　(1.5.9)

(1)室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレンの濃度を測定し、測定結果を監督職員に報告する。
(2)測定対象室及び測定箇所数は仕上げ表による。
(3)測定は、パッシブ型採集機器により行う。
(4)測定方法及び測定結果の報告は、現場説明書による。

○ 完成写真

工事完成時に次の写真を撮影し、監督職員に提出する。

撮影部位及び箇所数	形式・サイズ	提出セット数	面素数、画質等	撮影者
外観正面 1箇所	カラー印画紙キャビネ判 カラー印画紙キャビネ判 A4アルバム綴じ※		4500×3000ピクセル以上で画像補正を行ったもの	建築完成写真の撮影実績がある者で、監督職員が承諾する撮影業者 ※建築専門写真業者 SS東京 同等の業者
	電子データ(JPEGフルカラー・圧縮率1/4程度)			
	カラー木製パネル半切(324×400mm)			
○上記と異なる外部(20)箇所内部(40)箇所	カラー印画紙キャビネ判 カラー印画紙キャビネ判 A4アルバム綴じ※			
	◎電子データ(JPEGフルカラー・圧縮率1/4程度)			
外部(　)箇所内部(　)箇所	カラー印画紙キャビネ判 A4アルバム綴じ		1280×960ピクセル以上かつ、撮影したデジタルカメラの設定のうち最高の画質	任意
	電子データ(JPEGフルカラー)			

注:※のアルバムは併せて作成する。

○ 他工事又は他工種との取合い

工事区分表による。これにより難い場合は監督職員と協議する。

2 仮設工事

○ 足場その他　(2.2.4)

「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の(2)手すり提置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。

3 土工事

○ 埋戻し及び盛土　(3.2.3)

材料及び工法
・材料(　　)工法(　　)
※表3.2.1による
種別
○A種 適用場所(　　)
○B種 適用場所(　　)
・C種 適用場所(　　)土質(　　)受渡場所(　　)
・D種 適用場所(　　)
品質細粒分(75μm以下)の含有率(重量百分率)の上限を50%未満とする。

○ 建設発生土の処理　※ 現場説明書による　・構内指示の場所に堆積　・構内指示の場所に敷き均し　(3.2.5)

. 山留めの撤去　鋼矢板等の抜き後の処理 ・　※盲ちに砂等で充填する　(3.3.3)
山留めの在置
・行う　(在置範囲　※図示　　)
.

4 地業工事

特記仕様書(構造関係)による

5 鉄筋工事

特記仕様書(構造関係)による

6 コンクリート工事

特記仕様書(構造関係)による

7 鉄骨工事

特記仕様書(構造関係)による

8 コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板工事

. 補強コンクリートブロック造

ブロックの種類(8.2.2)　(8.2.2、3、5)

断面形状及び圧縮強さによる区分	正味厚さ(mm)	モデュール呼び寸法(mm) 長さ	高さ	化粧の有無	適用箇所	備考
.				・無 ・有		
.				・無 ・有		

モルタルの調合(容積比)(8.2.3)
・セメント(　　):砂(　　)
各部の配筋(8.2.5)
※図示による(　　)

. コンクリートブロック帳壁及び塀

ブロックの種類　(8.3.2、3、4)

断面形状及び圧縮強さによる区分	正味厚さ(mm)	モジュール呼び寸法(mm) 長さ	高さ	化粧の有無	(表8.3.1)以外の適用箇所	備考
・空洞ブロックC(16)				・無 ・有		
・型枠状ブロック20				・無 ・有		
.				・無 ・有		

塀の厚さ(8.3.2)
.
壁筋筋の継手、定着及び末端部の折り曲げ形状(8.3.4)
※図示による(　　)・
各部の配筋(8.3.4)
※図示による(　　)・

. ALCパネル　(8.4.2～5)

パネルの区分	単位質量(N/m²)	厚さ(mm)	長さ(mm)	幅(mm)	耐火性能	表面加工	工法の種別
・外壁パネル		100			有(1)時間	平	・A種・B種
・間仕切壁パネル		100			・有(1)時間 ・無	平	・C種・D種・E種
・屋根パネル		100			有(0.5)時間	平	F種
・床パネル		100			・有(　)時間		

パネルの相互の接合部に挿入する耐火目地材
.
外壁、屋根パネルの工法
建築基準法に基づき定まる風圧力の(・1 ・1.15 ・1.3)倍の風圧力に対応した工法
パネル幅の最小限度を300mm未満とする場合・
パネル短辺小口相互の接合部、外壁、間仕切壁パネルの出隅及び入隅のパネル接合部並びに
パネルと他部材との取り合い部の目地幅(mm)　・　※10～20
外壁、間仕切壁パネルの伸縮目地への耐火目地材の充填 ・適用する ・適用しない

. 押出成形セメント板(ECP)　(8.5.2～5)

パネルの種類	表面形状	厚さ(mm)	幅(mm)	工法の種別	備考
・外壁パネル	・F(ﾌﾗｯﾄﾊﾟﾈﾙ)	50・60・18	300	・A種(縦)	
	・D(ﾃﾞｻﾞｲﾝﾊﾟﾈﾙ)	50・60	600	・B種(横)	
	・T(ﾀｲﾙﾍﾞｰｽﾊﾟﾈﾙ)	60			
・間仕切壁パネル	・F(ﾌﾗｯﾄﾊﾟﾈﾙ)	50・60		・B種	
	・D(ﾃﾞｻﾞｲﾝﾊﾟﾈﾙ)	50・60	600	・C種	
	・T(ﾀｲﾙﾍﾞｰｽﾊﾟﾈﾙ)	60			

外壁パネルの工法
建築基準法に基づき定まる風圧力の(・1 ・1.15 ・1.3)倍の風圧力に対応した工法
パネル幅の最小限度を300mm未満とする場合
パネル相互の目地幅(mm) ・長辺　、短辺
出隅及び入隅のパネル接合目地の目地幅(mm) ※15程度 ・
耐火構造以外の目地及び隙間の処理 ・　※パネルの製造所の仕様
やむを得ず欠き込み等を行う場合は、下表の寸法を限度とする。ただし、欠損部分を考慮した強度を確認のうえ、施工計画書を提出する。

		開口の大きさ		切断後のパネルの残り部分の幅	
パネルに開口を設ける場合	短辺	・○○示		・○○示	
	長辺	・○○示		・○○示	
パネルを切り欠く場合	短辺	・○○示		・○○示	
	長辺	・○○示		・○○示	

9 防水工事

○ アスファルト防水　(9.2.2～5)(表 9.2.3～9)

屋根保護防水
防水層の種別

種別	施工箇所	断熱材	絶縁用シート	立上り部の保護方法
・A－1			※ポリスチレンフィルム厚さ0.15mm以上 ・	○乾式保護材
・A－2				
・A－3				コンクリート押え
○B－1	勾配屋根			
・B－2				
・B－3				
・AI－1		材質)※JIS A 9521に基づく押出法ポリスチレンフォーム断熱材3種b(A(スキン層付き) (厚さ) ・ 25mm 50mm	※クラフトサーンクロス70g/m 程度 ・	れんが押え
・AI－2				・
・AI－3				
・BI－1				
・BI－2				※JIS R 1250
・BI－3				

改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
用途による区分　屋根
材料構成による区分　※R種
厚さ　・　1.5mm以上

※標準仕様書表9.2.3から標準仕様書表9.2.8による

部分貼密層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
用途による区分
材料構成による区分　※R種
厚さ　・　mm以上

※標準仕様書表9.2 から標準仕様書表9.2.8による

平場の保護コンクリートの厚さ
こて仕上げ　※水下 80mm以上
床タイル張り ※水下 60mm以上

・乾式保護材
窯業系パネル:無石綿の繊維質原料等を主原料として、板状に押出成形しオートクレーブ養生したもの。
金属複合板:金属板と樹脂を積層一体化したもの。
(品質・性能・試験方法)
別表による

屋根露出防水
防水層の種別

種別	施工箇所	断熱材	仕上塗料 種類	仕上塗料 使用量	高日射反射率防水の適用
○D－1	庇		・	・	・
・D－2					・
・D－3			・アスファルト ルーフィング類の製造所の仕様	・アスファルト ルーフィング類の製造所の仕様	・
・D－4					・
・DI－1		標準仕様書9.2.2(9)(種類) (厚さ) ・ 25mm 50mm			・
・DI－2					・

屋根露出防水絶縁断熱工法の場合の、ルーフドレン回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置　※図示 ・

屋根露出防水絶縁断熱工法及び屋根露出防水絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量
種類 ・　※アスファルトルーフィング類の製造所の指定
設置数量 ・　僅 ※アスファルトルーフィング類の製造所の指定

屋内防水
防水層の種別

種別	施工個所	種別	施工個所
・E－1		・E－2	

保護層 ・設ける(※図示 ・　)・設けない

防水層の下地の立上り
※コンクリート打放し仕上げ 標準仕様書表6.2.4(打放し仕上げ種別)のB種 ・
押え金物の材質及び形状及びピッチ
※アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度　・
防水層の下地のモルタル塗り ・適用する(施工範囲 ※図示 ・　)
・適用しない
屋根樋水溝 ※図示　・

工事名称	令和5年度新宿御苑管理事務所等防災機能強化改修工事			工事年度	令和5年度
工事場所	東京都新宿区内藤町11			国営名称	特記仕様書1
発注機関	環境省　新宿御苑管理事務所			縮尺	N.S.
分図名称	新宿御苑			図面番号	A-02
機印	管理建築士	設計	製図	設計者	名称 宇建異設計事務所一級建築士事務所
					資格者氏名 岡本 功子
					登録番号 一級建築士 356094号
					所在地 神奈川県川崎市高津区久末1778-1-420

・改質アスファルトシート防水

防水層の種別 (9.3.2 、3)(表 9.3.1～3)

種 別	施工箇所	断熱材 G	防湿層	仕上塗料 種類	仕上塗料 使用量	高日射反射率防水の適用G
・ＡＳ-Ｔ１				・改質アスファルトシートの製造の仕様	・改質アスファルトシートの製造の仕様	・
・ＡＳ-Ｔ２						・
・ＡＳ-Ｔ３						・
・ＡＳ-Ｔ４						・
・ＡＳ-Ｊ１						・
・ＡＳＩ-Ｔ１		標準仕様書9.3.2(3)(ｲ)(種類) ・ (厚さ) ・25mm ・50mm	・設ける(改質アスファルトシートの製造所の仕様による) ・設けない			
・ＡＳＩ-Ｊ１						・

改質アスファルトシートの種類及び厚さ
用途による区分 ・
材料構成による区分 ※R種
厚さ ・ mm以上
※標準仕様書表9.3.1から表9.3.3による
粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ
用途による区分 ・
材料構成による区分 ※R種
厚さ ・ mm以上
※標準仕様書表9.3.1から表9.3.3による
部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ
用途による区分 ・
材料構成による区分 ※R種
厚さ ・ mm以上
※標準仕様書表9.3.1から表9.3.3による
押え金物の材質、形状及び寸法
・ ※アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度
屋根露出防水絶縁工法及び屋根露出防水絶縁加熱工法の場合の脱気装置の種類及び設置数量
種類 ・
※改質アスファルトシートの製造所の指定
設置数量 ・ 個 ※改質アスファルトシートの製造所の指定

・合成高分子系ルーフィングシート防水

(9.4.2～4) (表9.4.1～3)

種 別	施工箇所	絶縁用シートの材質	断熱材 G	仕上塗料 種類	仕上塗料 使用量	高日射反射率防水の適用G
・S-F１	・ ・	・		・ルーフィングシートの製造所の仕様	・ルーフィングシートの製造所の仕様	・
・S-F２	・ ・	※発泡ポリエチレンシート				・
・S-M１	・			・ルーフィングシートの製造所の仕様	・ルーフィングシートの製造所の仕様	・
・S-M２	・					・
・S-M３	・					
・ＳＩ-Ｆ１	・	・	※標準仕様書9.4.2(3)(ｴ)(b)(種類) ・ (厚さ) ・	・ルーフィングシートの製造所の仕様	・ルーフィングシートの製造所の仕様	・
・ＳＩ-Ｆ２	・	※発泡ポリエチレンシート				・
・ＳＩ-Ｍ１	・		※標準仕様書9.4.2(3)(ｴ)(a)(種類) ・ (厚さ) ・	・ルーフィングシートの製造所の仕様	・ルーフィングシートの製造所の仕様	・
・ＳＩ-Ｍ２	・	・ ※発泡ポリエチレンシート				・

ＳＩ－Ｆ１、ＳＩ－Ｆ２、ＳＩ－Ｍ１及びＳＩ－Ｍ２における防湿用フィルムの設置
・設ける
・設けない
Ｓ－Ｍ２またはＳＩ－Ｍ２の立上り部の工法
・接着工法 立上り面のシート厚さ ・ ※1.5mm
・機械的固定方法

屋内防水
防水層の種別

種別	施工箇所	保護層 平場のモルタル塗り 塗厚	保護層 平場のモルタル塗り	保護層 立上り部の保護モルタル塗厚
・Ｓ－Ｃ１	・・		・床塗り工法 ・下地モルタル塗り ・	※7mm以下 ・

屋内保護密着工法
平場のモルタル塗りの目地 ・種類 ・目地材 ・図示
ルーフィングシートの種類及び厚さ
種類 ・
厚さ ・
※標準仕様書表9.4.1、表9.4.2及び表9.4.3による ・
接着工法の場合の脱気装置の種類及び設置数量
種類 ・
※ルーフィングシートの製造所の仕様
設置数量 ・
※ルーフィングシートの製造所の仕様
固定金具の材質、形状及び寸法
・
※厚さ0.4mm以上の防錆処理した鋼板、ステンレス鋼板又はそれらの鋼板の片面若しくは両面に樹脂を積層加工した鋼板

・塗膜防水

接着工法においてプレキャストコンクリート部材下地の目地処理
・行う (・図示 ・)
プレキャストコンクリート部材の入隅部の増張り(種別S-F1、SI-F1の場合)
・行う (・図示 ・)
機械的固定工法の場合の一般部のルーフィングシートの張付け
建築基準法に基づき定まる風圧力の (・1 ・1.15 ・1.3) 倍の風圧力に対応した工法

防水層の種別 (9.5.3)(表 9.5.1、2)

種別	施工個所	仕上塗料 種類	仕上塗料 使用量	保護層	高日射反射率防水の適用G
・X-1		・ ・主材料の製造所の仕様	・ ・主材料の製造所の仕様		・
・X-2		・ ・主材料の製造所の仕様	・ ・主材料の製造所の仕様		・
・Y-1	※地下外壁防水				
・Y-2	※屋内防水			・適用する ・適用しない	

ウレタンゴム系塗膜防水Ｘ－１（絶縁工法）の脱気装置の種類及び設置数量
種類 ・
※主材料の製造所の仕様
設置数量 ・ 個
※ルーフィングシートの製造所の仕様
ゴムアスファルト系塗膜防水Ｙ－１、Ｙ－２
工程数及び各工程の使用量
・
※主材料の製造所の仕様

・ケイ酸質系塗布防水

防水層の種別 (9.6.1、3、4)(表9.6.1、2)

種別	施工箇所	種別	施工箇所
・Ｃ－ＵＩ		・Ｃ－ＵＰ	

防水層の下地
壁 (・ ※コンクリート打放し仕上げ (表6.2.4 B種)
天井部 (・ ※コンクリート打放し仕上げ (表6.2.4 B種)
下地処理
コンクリートの打継ぎ箇所の処理
・
・図示
※打継ぎ部分に対し、幅30mm及び深さ30mmにＶ形にはつり、水洗い清掃した後、防水材の製造所の指定する材料を充填
型枠締付け材にコーンが使用されている部分及び防水材の塗布面以外の下地処理
・
・図示

シーリング

下表以外は、標準仕様書表 9.7.1による (9.7.2、3、5)(表 9.7.1)
ただし、外壁タイル接着剤張り目地の場合のシーリングは11章に、カーテンウォール目地の場合のシーリングは17章による

施工箇所	シーリング材の種類（記号）

シーリング材の目地寸法
・
・図示
※標準仕様書9.7.3(1)(ｱ)～(ｳ)による

接着性試験
※簡易接着性試験
・引張接着性試験

10 左官工事

施工

石材の割付け ・図示
粗面仕上げの場合ののみ込み部分の仕上げ ・図示
屋内の床を本磨きとする場合のワックスかけ ・行う（適用場所 ・すべて ・ ）
・行わない

(10.1.3、5)

石材等

天然石 (10.2.1、3)(表 10.2.1、2)

施工箇所	岩石の種類	等級	形状及び寸法 寸法(mm)	厚さ(mm)	表面仕上げの種類	備考
・床石		※2等品	・ ※正方形に近い矩形(石材1枚の面積が0.8㎡以下)			

テラゾブロック

施工箇所	種石の種類	種石の大きさ(mm)	形状による区分	仕上げ面による区分	寸法(mm)	仕上げの種類	備考
	※大理石 ・花こう岩	※1.5～12 ・	・平もの ・役もの	・片面 ・両面			

テラゾタイル

施工箇所	種石の種類	種石の大きさ(mm)	寸法による区分	表面仕上げ	備考
	※大理石 ・花こう岩	※1.5～12 ・	・300型 ・400型		

取付け用モルタル
・ ※専門工事業者の指定する製品
既調合の目地モルタル
・ ※専門工事業者の指定する製品
石裏面処理材
・ ※専門工事業者の指定する製品
裏打ち処理材
・ ※専門工事業者の指定する製品
金物の固定に使用する充填材料等
・ ※専門工事業者の指定する製品

・外壁湿式工法

(10.2.2、3)(10.3.2、3)

受金物 材質 ・ ※SUS304
形状及び寸法 ・L-75×75×6(mm)の加工 長さ100mm
・L-75×75×6(mm)の加工 長さ150mm
アンカーの材質及び径 ・ ※SS400 M12
あと施工アンカーの材質及び寸法等 ( )
ドレンパイプの材質 ・樹脂ネット製パイプ クロスメッシュ巻き 25～35φ

石裏面処理 ・適用する ・適用しない
裏打ち処理 ・適用する ・適用しない
下地ごしらえ ※流し筋工法
・あと施工アンカー工法
・あと施工アンカー・横筋流し工法
目地 一般目地 目地幅(mm) ※6以上
シーリング材 ・適用する ・適用しない
伸縮調整目地
位置 ・図示 ※標準仕様書11.1.1による
シーリング材の目地寸法
・図示 ※幅・深さ共10mm以上

・内壁空積工法

(10.2.2)(10.4.2、3)

受金物 材質 ・ ※SUS304
形状及び寸法 ・L-75×75×6(mm)の加工 長さ100mm
・L-75×75×6(mm)の加工 長さ150mm

アンカーの材質及び径 ※SS400 M12
あと施工アンカーの材質及び寸法等 ( )
石裏面処理 ・適用する ・適用しない
裏打ち処理 ・適用する ・適用しない
下地ごしらえ ※ あと施工アンカー・横筋流し工法 ・あと施工アンカー工法
目地 一般目地 目地幅(mm) ※6以上
シーリング材 ・適用する ・適用しない
伸縮調整目地
位置 ※6m程度ごと ・図示
シーリング材の目地寸法
・図示 ※幅・深さとも10mm

・乾式工法

(10.2.2)(10.5.2、3)(表10.2.4)

乾式工法の方式による金物の種類、形状、寸法等
(・)
取付け方式 ・スライド方式 ・ロッキング方式
アンカーの材質及び形状 ※ステンレス（SUS304）M10
あと施工アンカーの材質及び寸法等 ( )
だぼ用の穴の位置 ・図示 ※標準仕様書10.5.2(2)(ｱ)による
石裏面処理 ・適用する ・適用しない
裏打ち処理 ・適用する ・適用しない
外壁の工法
建築基準法に基づき定まる風圧力の (・1 ・1.15 ・1.3) 倍の風圧力に対応した工法
目地 目地幅(mm) ※8以上
シーリング材 ・図示 ※標準仕様書9.7による

・床及び階段の石張り

(10.6.2、3)

床石張りの裏面処理 ・適用する ・適用しない
階段張りの裏面処理 ・適用する ・適用しない
目地 一般目地 目地幅(mm) ・図示 ・ ・屋外4以上 ・屋内3～6
シーリング材 ・適用する ・適用しない
伸縮調整目地
位置 ・
・図示 ・
※床面積30m 程度ごと、細長い通路の場合6m程度ごと及び他の部材と取り合う箇所
シーリング材の目地寸法
・ ・図示 ※幅・深さ共10mm

・アーチ、上げ裏等の石張り

(10.2.2)(10.7.1、2)

取付け工法 ・内壁空積工法 ・乾式工法
取付け金物 ※標準仕様書10.2.2(3)
材質 ※ステンレス（SUS304）
寸法 引金物 ・
だぼ ・
かすがい ・
受金物 ・
ファスナーの方式 ・スライド方式 ・ロッキング方式
吊金物及び化粧吊りボルト
・設ける 吊金物 ※ステンレス(SUS304)径6mm長さ80mm（加工物）
吊りボルト ※ステンレス(SUS304)M10化粧ナット付き
・設けない

あと施工アンカーの材質及び寸法 ( )
取付け工法 ・内壁空積工法 ・乾式工法
石裏面処理 ・適用する ・適用しない
裏打ち処理 ・適用する ・適用しない
目地 一般目地 目地幅(mm) ※6以上
伸縮調整目地 位置 ※他の部位との取合い部 ・図示
シーリング材の目地寸法
・ ・図示 ※幅・深さ共10mm以上

・笠木、甲板等の石張り

(10.2.2) (10.7.1、3)

取付け工法 ・外壁湿式工法 ・乾式工法
取付け金物 ※標準仕様書10.2.2(3)
材質 ※SUS304
寸法 引金物 ・
だぼ ・
かすがい ・
受金物 ・
ファスナーの方式 ・スライド方式 ・ロッキング方式
あと施工アンカーの材質及び寸法 ( )
石裏面処理 ・適用する ・適用しない
乾式工法の場合の取付け代 ・ ※70mm程度
石材の裏面の補強用モルタル ・適用する ・適用しない

11 タイル工事

・伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地

(11.1.3)(表11.1.1)

位置 ※標準仕様書表11.1.1による ・図示
目地寸法 ・ ※標準仕様書9.7.3による

・セメントモルタルによる陶磁器質タイル張り

タイルの形状、寸法等 (11.2.2、7)

施工箇所	形状/寸法(mm)	再生材料の適用 G	吸水率による区分 I類	II類	III類	反りわくずり 抵ゆず	無ゆず	役物 有	無	色 標準	特注	耐凍害性 有	無	耐滑り性	備考
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	

標準的な曲がりの役物は一体成形とする
試験張り ・行う ・行わない
見本焼き ・行う ・行わない
下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理
・目荒し工法（高圧水洗処理）・MCR工法
壁タイル張りの工法
内装タイル ・密着張り ・改良積上げ張り ・改良圧着張り ・ユニットタイル
外装タイル ・密着張り ・改良積上げ張り ・改良圧着張り
内装タイル以外のユニットタイル ・マスク張り ・モザイクタイル張り

既製調合モルタル
モルタル下地としたタイル工事に使用する張付け用モルタルとして、セメント、細骨材、混和剤等を予め工場において所定の割合に配合した材料とする。
(品質・性能・試験方法)
別表による
・既製調合目地材
(品質・性能・試験方法)
別表による

・有機系接着剤によるタイル張り

(11.3.2～4、7)

タイルの形状、寸法等

施工箇所	形状/寸法(mm)	再生材料の適用 G	吸水率による区分 I類	II類	III類	反りわくずり 抵ゆず	無ゆず	役物 有	無	色 標準	特注	耐凍害性 有	無	耐滑り性	備考
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	

標準的な曲がりの役物は一体成形とする
試験張り ・行う ・行わない
見本焼き ・行う ・行わない
接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ 規制対象外
目地のシーリング材
打継ぎ目地 ※ポリウレタン系シーリング材
ひび割れ誘発目地 ※ポリウレタン系シーリング材
伸縮調整目地 ※変成シリコーン系シーリング材
その他の目地 ※変成シリコーン系シーリング材
下地調整材塗りを行うコンクリート素地面の処理
・MCR工法・目荒し工法（高圧水洗処理）・

12 木工事

表面仕上げ

(12.1.4)(表12.1.1)

表面仕上げの種別		適用箇所
機械加工	・A種	
	・B種	
	・C種	
手加工	・H-A種	
	・H-B種	
	・H-C種	

製材 G

・「製材の日本農林規格」による下地用針葉樹製材 (12.2.1) (12.4.1) (12.5.1) (12.6.1) (12.7.1)

施工箇所	樹種	寸法(mm)	等級	形状	含水率	保存処理	開伐材等の適用
			・ ※2級		※A種・B種		・
			・ ※2級		※A種・B種		・
			・ ※2級		※A種・B種		・

・「製材の日本農林規格」による造作用針葉樹製材

施工箇所	樹種	寸法(mm)	等級	形状	含水率	保存処理	開伐材等の適用
見え掛り面			・ ※上小節		※A種・B種		・
見え掛り面以外			・ ※小節以上		※A種・B種		・
					※A種・B種		・

・「製材の日本農林規格」による広葉樹製材

施工箇所	樹種	寸法(mm)	等級	形状	含水率	保存処理	開伐材等の適用
			・ ※1等		※10%以下 ・A種・B種		・
			・ ※1等		※10%以下 ・A種・B種		・
			・ ※1等		※10%以下 ・A種・B種		

※特記仕様書（構造関係）による

工事名称	令和５年度新宿御苑管理事務所等防災機能強化改修工事	工事年度	令和５年度
工事場所	東京都新宿区内藤町11	図面名称	特記仕様書２
発注機関	環境省 新宿御苑管理事務所	縮 尺	N.S.
公開名称	新宿御苑	図面番号	A-03

検 印	管理建築士	設 計	製 図	設計者	名 称	宇建築設計事務所一級建築士事務所
					資格者氏名	岡本 治子
					登録番号	一級建築士 356094号
					所在地	神奈川県川崎市高津区久末1778-1-420

・造作用集成材 Ⓖ

「製材の日本農林規格」以外の製材

施工箇所	樹種	寸法(mm)	材面の品質	防虫処理	含水率	間伐材等の適用
			)	・適用する	※A種・B種	・
			造作材の場合 ※A種・B種)	・適用しない	・	
			)	・適用する	※A種・B種	・
			造作材の場合 ※A種・B種)	・適用しない	・	
			)	・適用する	※A種・B種	・
			造作材の場合 ※A種・B種)	・適用しない	・	

ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・

・「集成材の日本農林規格」による造作用集成材 (12.2.1)

施工箇所	樹種	寸法(mm)	見付け材面数	見付け材面の品質	間伐材等の適用
				※1等 ・2等	
				※1等 ・2等	・
				※1等 ・2等	・

・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり造作用集成材

施工箇所	樹種	寸法(mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面数	見付け材面の品質	間伐材等の適用
	化粧薄板： 芯材：				※1等 ・2等	・
	化粧薄板： 芯材：				※1等 ・2等	・
	化粧薄板： 芯材：				※1等 ・2等	・

・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり構造用集成柱

施工箇所	樹種	寸法(mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面の品質	間伐材等の適用
	化粧薄板： 芯材：				・
	化粧薄板： 芯材：				・
	化粧薄板： 芯材：				・

・「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

施工箇所	樹種	寸法(mm)	見付け材面の品質	含水率	間伐材等の適用
				※15%以下 ・	・
				※15%以下 ・	・
				※15%以下 ・	・

・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材

施工箇所	樹種	寸法(mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面の品質	含水率	間伐材等の適用
	化粧薄板： 芯材：				※15%以下 ・	・
	化粧薄板： 芯材：				※15%以下 ・	・
	化粧薄板： 芯材：				※15%以下 ・	・

・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり構造用集成柱

施工箇所	樹種	寸法(mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面の品質	含水率	間伐材等の適用
	化粧薄板： 芯材：				※15%以下 ・	・
	化粧薄板： 芯材：				※15%以下 ・	・
	化粧薄板： 芯材：				※15%以下 ・	・

・造作用単板積層材 Ⓖ (12.2.1)

ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・

「単板積層材の日本農林規格」による造作用単板積層材

施工箇所	厚さ(mm)	表面の化粧加工	防虫処理	間伐材等の適用
		・有り（加工 ・天然木化粧加工・塗装加工） ・無し（等級： ）	・適用する ・適用しない	・
		・有り（加工 ・天然木化粧加工・塗装加工） ・無し（等級：	・適用する ・適用しない	・

「単板積層材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材

施工箇所	厚さ(mm)	表面の化粧加工	含水率	防虫処理	間伐材等の適用
		・有り （加工・天然木化粧加工 ・塗装加工） ・無し（ ）	・ ※14%以下	・適用する ・適用しない	・
		・有り （加工・天然木化粧加工 ・塗装加工） ・無し（ ）	・ ※14%以下	・適用する ・適用しない	・

・ＣＬＴ（直交集成板） Ⓖ

施工箇所	品名	曲げ性能（強度等級）	種別	接着性能（使用環境）	樹種	寸法(mm)	間伐材等の適用
							・
							・
							・

・床張り用合板等 (12.2.1)

ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・

・普通合板 Ⓖ

施工箇所	厚さ(mm)	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	防虫処理	間伐材等の適用
	・ ※5.5 ・		※1類 ・2類	広葉樹 ・1等 ※2等以上 針葉樹 ・ ※C-D以上	・適用する ・適用しない	・
	・					

・構造用合板 Ⓖ

施工箇所	厚さ(mm)	等級	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	防虫処理	強度等級	間伐材等の適用
	・ ※12	・1級 ※2級以上		※1類 ・特類	・ ※C-D以上	・適用する ・適用しない	・適用する ( ) ・適用しない	・
	・	・		※1類 ・特類	・	・適用する ・適用しない	・適用する ( ) ・適用しない	・

・「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板 Ⓖ

施工箇所	厚さ(mm)	単板の樹種名	接着の程度	防虫処理	間伐材等の適用
			※1類 ・特類		・
					・
					・

・「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板 Ⓖ

施工箇所	化粧板に使用する単板の樹種名	厚さ(mm	接着の程度	防虫処理の適用	間伐材等の適用
			※1類 ・2類	・適用する ( )	・
					・
					・

・「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板 Ⓖ

施工箇所	厚さ(mm)	接着の程度	表面性能	化粧加工の方法	防虫処理の適用	間伐材等の適用
		※1類 ・特類			・適用する ( )	・
						・
						・

・パーティクルボード Ⓖ

施工箇所	厚さ(mm)	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	難燃性による区分
	・ ※15		※13タイプ	・ ※P又はM	

・構造用パネル

施工箇所	厚さ(mm)	等級
		・1級 ・2級 ・3級 ・4級
		・1級 ・2級 ・3級 ・4級

・ＭＤＦ Ⓖ

施工箇所	厚さ(mm)	表裏面の状態による区分		接着剤による区分	難燃性による区分	の適用

・接着剤 (12.2.2、3)

接着剤は可塑剤(揮発性の可塑剤を除く)が添付されていないものとする。

ホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外 ・

・防腐・防蟻 処理 (12.3.1、2)

・防腐、防蟻処理を省略できる樹種による製材

適用部位：（ ）

・薬剤の加圧注入による防腐・防蟻処理

適用部位	保存処理性能区分
	・Ｋ２・Ｋ３・Ｋ４
	・Ｋ２・Ｋ３・Ｋ４
	・Ｋ２・Ｋ３・Ｋ４

・薬剤の塗布等による防腐・防蟻処理

適用部位	処理の方法	薬剤の方法
	・ ※標準仕様書12.3.1(4)(b)①～④による ・	※JIS K 1571に適合又は同等品
	・	

・薬剤の接着剤への混入による防腐、防蟻処理

適用部位（ ）

13 屋根葺き工事

・長尺金属板葺 (13.2.2、3)

施工箇所	板及びコイルの種類	塗膜の耐久性、めっき付着量等の種類及び記号	厚さ(呼び)	屋根葺形式	備考
	※JIS G 3322の屋根用コイル ・	・ カラーガルバリウム鋼板	・0.4	・心木なし瓦棒葺 ・立平葺 ・縦掛葺 ・横葺・ななめ一文字葺き	

※ダイムワカイ「パーフェクトルーフ工法」同等品

下葺材料 ・アスファルトルーフィング940

・改質アスファルトルーフィング下葺材

（・一般タイプ ・複層材タイプ ・粘着層付タイプ）

工法

建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1 ・1.15 ・1.3）倍の風圧力に対応した工法

雪止め ・設置する（施工場所 ・図示 ・ ）

・折板葺 (13.2.2)(13.3.2,)(表 13.2.1)

施工箇所	形式	山高、山ピッチによる区分		耐力による区分	材料による区分	厚さ(mm)	軒先面戸板	耐火性能
		山高	山ピッチ					
	・重ね形 ・はぜ締め形 ・かん合形			（ ）種	※鋼板製 ・ｱﾙﾐﾆｳﾑ合金板製		・有り ・無し	・30分 ・無し
	・							

材料 板及びコイルの種類（ ）

塗膜の耐久性、めっき付着量等の種類及び記号（ ）

タイトフレームにJIS G 3302以外の鋼材を直接外気の影響を受けないで屋内で使用する場合の表面処理

(標準仕様書表14.2.2による ・Ｅ種 ・Ｆ種)

断熱材 ・有り（種別： 厚さ(mm)： 防火性能： 時間）

・無し

工法

建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1 ・1.15 ・1.3）倍の風圧力に対応した工法

折板のけらば納め

・

※けらば包みによる方法

・住宅屋根用化粧スレート葺き (13.4.2、3)

施工箇所	種類 製法による区分	形状による区分	寸法による区分	大きさ	産地	役物瓦の種類	雪止め金物
管理事務所棟							・適用する ・適用しない
倉庫兼作業場棟							・適用する ・適用しない

JIS A5208に基づく凍害試験等

・行う

・行わない

材料

住宅用化粧スレートの品質は、JIS A 5423（住宅用屋根化粧スレート）に適合するもの

または、これと同等以上の性能を有するもの

工法

屋根用化粧スレートによる屋根一般部分は、次による。

イ.ふき板の切断及び穴あけは、押切カッターによる。

ロ.ふき足及び重ねの長さは、JIS A 5423（住宅屋根用化粧スレート）の規定による。

ハ.ふき板は、１枚ごとに所定の位置に専用ビスで野地板に留め付ける。

ニ.強風地域や特に対風耐力を必要とする場合は、背着材若しくは釘等による増し留めを行うものとし、特記による

ホ.特殊工法によるものは、各製造者の仕様によるものとし、特記による

・とい (13.5.2、3)(表 13.5.5)

とい その他材種 ・配管用鋼管 ・硬質ポリ塩化ビニル管

積水化学工業 カーボンＶ５００および枯れ葉よけエスロネット同等品

とい受金物

材種 ・ ※溶融亜鉛めっきを行ったもの

形状

※市販品（とい径 100 以下） 25×4.5（とい径 100 を超えるもの）

取付け間隔

取付け間隔

多雪地域 ・適用する ・適用しない

防露材のホルムアルデヒド放散量

※規制対象外 ・

鋼管製といの防露巻き ・適用する（工法：・ ※標準仕様書表13.5.4による）

・適用しない

ルーフドレン の材種その他

種別	施工箇所	材種
・ろく屋根用（・縦型 ・横型）		
・バルコニー用		
・バルコニー中継用		

14 金属工事

・ステンレスの表面仕上げ (14.2.1)

種類	施工箇所（手すり、タラップ、建具以外）
※ＨＬ程度	
・鏡面仕上げ 程度	
・№2B 程度	
・バイブレーション	

・アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理 (14.2.2)(表 14.2.1)

種別	色合い等	施工箇所（成形板、笠木、建具以外）
・Ｂ－１種（無着色マット仕上）	標準色 ( ) 特注色 ( )	

陽極酸化皮膜の着色方法 ※二次電解着色 ・三次電解着色

・鉄鋼の亜鉛めっき (14.2.3)(表 14.2.2)

表面処理方法	種 別	施工箇所（手すり、タラップ以外）
・溶融亜鉛めっき	・A種	外部 柱・梁 板厚4.5mm以上のFB、PL等
	・B種	3.2mm≦板厚<4.5mmのFB、PL等
	・C種	1.6mm≦板厚<3.2mmのFB、PL等
・電気亜鉛めっき	・D種	
	・E種	
	・F種	

・軽量鉄骨天井下地 (14.4.2～4)(表14.4.1)

野縁等の種類

屋外（※ 25 形 ・ 19 形） 屋内（※ 19 形 ・ 25 形）

・屋外の軒天井、ピロティ天井等

工法

建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1 ・1.15 ・1.3）倍の風圧力に対応した工法

野縁受、吊りボルト及びインサートの間隔 ・図示 ・

周辺部の端からの間隔 ・図示 ・

野縁の間隔 ・図示 ・

・吊りボルトの間隔が900mmを超える場合

補強方法 ※図示 ・

・天井のふところが1.5m以上3.0m以下の場合

補強方法 ※標準仕様書14.4.4(8)による ・図示

・天井のふところが3.0mを超える場合

補強方法 ※図示 ・

・天井下地材における耐震性を考慮した補強

補強箇所 ・図示 ・

補強方法 ※図示 ・

・軽量鉄骨壁下地 (14.5.3)(表 14.5.1)

スタッド、ランナーの種類

※標準仕様書表14.5.1によるスタッドの高さによる区分に応じた種類 ・図示

スタッドの高さが５.０ｍを超える場合 ※図示

出入口及びこれに準ずる開口部の補強

・

※標準仕様書14.5.4(5)による。

・金属成形板張り (14.6.2,3)(表 14.2.1)

種別	製法	形状	板幅(mm)	板厚(mm)	表面処理 種別	色合い等
・ｱﾙﾐﾆｳﾑ	・押出し ・ロール ・プレス ・	ﾊﾟﾄﾞﾙ形 パネル形				

取付け用下地 ※標準仕様書14.4による ・図示

伸縮調整継手 ・設ける（施工箇所 ・図示 ・ ） ・設けない

・アルミニウム製笠木 (14.7.2、3)(表 14.2.1)(表 14.7.1)

種類 ・250形 ・300形 ・350形

表面処理 種別（ ）種 （ ）

色合い等 ・標準色（ ） ・特注色（ ）

笠木の固定金具の工法等

建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1 ・1.15 1.3）倍の風圧力に対応した工法

・手すり及びタラップ (14.8.2、3)

手すり ・SUS304（表面処理 ・ ※HL程度）

・鋼製 表面処理 溶融亜鉛めっき種別

※標準仕様書14.2.2による。

タラップ ・SUS304（表面処理 ・研磨なし ・HL程度）

・鋼製 （表面処理 ※溶融亜鉛めっきC種 ・ ）

15 左官工事

・モルタル塗り (15.3.2、5)

モルタル ・現場調合材料 ・既調合材料

・既調合材料 （ ）

既製目地材 ・設ける 施工箇所（ ） 形状（※図示 ・ ）

・設けない

床の目地 ・設ける

（目地割り ・ ※2㎡程度（最大目地間隔3m程度）

（種類 ※押し目地）

・設けない

外装タイル張り下地等の下地モルタル塗及び下地鋼整材塗りの接着力試験

・適用する ・適用しない

・防水剤

（品質・性能・試験方法）

別表による

・ラス系下地 (15.2.4)

ラス系下地

・通気工法単層下地

換気口部の防水処理

・通気工法二層下地

・直貼りラスモルタル下地

・直貼りラスシートモルタル下地

・耐力壁、防火構造、準防火構造等の指定

（ ）

ラスの材料

・素材による区分 （ ）

・種類 （ ）

・単位面積当たりの質量 （ ）

・セルフレベリング材塗り (15.5.2)(表15.5.1)

・せっこう系 ・セメント系

・仕上塗材仕上げ (15.6.2)

建物内部に使用する塗料のホルムアルデヒド放散量

※規制対象外 ・

仕上塗材の種類

・薄付仕上塗材

種類（呼び名）	仕上げの形状・工法	吸放湿材	防火材料
・外装薄塗材Ｓｉ	・砂壁状	・適用する ・適用しない	・
・可とう形外装薄塗材Ｓｉ	・ゆず肌状 （・吹付け ・ローラー塗り）		・
・外装薄塗材Ｅ			・
・可とう形外装薄塗材Ｅ	・さざ波状		・
・防水形外装薄塗材Ｅ	・平たん状		・
・外装薄塗材Ｓ	・凹凸状 （・吹付け ・こて塗り）		・
・内装薄塗材Ｃ			・
・内装薄塗材Ｌ	・着色骨材砂壁状 （・吹付け ・こて塗り）		・
・内装薄塗材Ｓｉ			・
・内装薄塗材Ｅ	・砂壁状じゅらく		・
・内装薄塗材Ｗ	・京壁状じゅらく		・

・厚付け仕上塗材

種類（呼び名）	仕上げの形状・工法	吸放湿材	上塗材	防火材料
・外装厚塗材Ｃ	・吹放し	・適用する ・適用しない	・適用する ・適用しない	・
・外装厚塗材Ｓｉ	・凸部処理			・
・外装厚塗材Ｅ	・平たん状 （・こて塗り ・ローラー塗り）			・
・内装厚塗材Ｃ				・
・内装厚塗材Ｌ	・凹凸状 （・こて塗り ・ローラー塗り）			・
・内装厚塗材Ｇ				・
・内装厚塗材Ｓｉ	・ひき起こし （・こて塗り ・ローラー塗り）			・
・内装厚塗材Ｅ				・
	・かき落とし			

・複層仕上塗材

種類（呼び名）	仕上げの形状・工法	上塗材の種類	耐候性	防火材料
・複層塗材ＣＥ	・ゆず肌状 ・凸部処理 ・凹凸状	溶媒 ※水系 ・ 樹脂 ※アクリル系 ・ 外観 ※つやあり ・メタリック ・	・・ ※耐候形３種	・
・可とう形複層塗材ＣＥ				・
・複層塗材Ｓｉ				・
・複層塗材Ｅ				・
・複層塗材ＲＥ				・
・防水形複層塗材ＣＥ				・
・防水形複層塗材Ｅ				・
・防水形複層塗材ＲＥ				・

工事名称	令和５年度駒場御苑管理事務所等防災機能強化改修工事	工事年度	令和５年度
工事場所	東京都新宿区内藤町11	図面名称	特記仕様書３
発注機関	環境省 新宿御苑管理事務所	縮 尺	N.S.
公開名称	新宿御苑	図面番号	A-04

検 印	管理建築士	設 計	製 図	設計者	名 称	宇建築設計事務所一級建築士事務所
					資格者氏名	岡本 治子
					登録番号	一級建築士 356094号
					所在地	神奈川県川崎市高津区久末1778-1-420

・軽量骨材仕上塗材

種類（呼び名）	仕上げの形状・工法	防火材料
・吹付用軽量塗材	砂壁状	・
・こて塗用軽量塗材	平たん状	・

ALCパネルの場合の下地処理 (15.6.4)

内壁目地部の形状　※V形目地付き　・

・ マスチック塗料塗り (15.7.2)

種別　・A種　・B種

せっこうプラスター塗り (15.8.3)

下塗り
・既調合プラスター（下塗り用）
・現場調合プラスター（下塗り用）
上塗り
・既調合プラスター（上塗り用）
・しっくい塗り

・ ロックウール吹付け (15.12.2、3)

ロックウールのホルムアルデヒド放散量　※ 規制対象外　・
接着剤のホルムアルデヒド放散量　　※ 規制対象外　・
仕上げ吹付け厚さ(mm)　・図示　・25　・

しっくい塗り (15.10.2、3)

しっくい
・現場調合材料　※標準仕様書15.10.2(1)(ｱ)による
・既調合材料
製造所　（　　）
種類　（　　）
下地
※木ずり、こまい土壁塗り、せっこうラスボード、せっこうボード

調合及び塗厚
・木ずり下地の場合　　※標準仕様書表15.10.1
・こまい土壁下地の場合　※標準仕様書表15.10.2

・ こまい壁塗り (15.11.2～5、7、8)

のり
・土壁用ののり　・ふのり　※つのまた　・ぎんなんそう
・粉末海藻
・砂壁用ののり　※ふのり　・つのまた　・こんにゃくのり
・にかわ　・合成樹脂系混和剤
色土
・土物仕上げに用いる色土の種類　（　　）
・大津仕上げに用いる色土の種類　（　　）
色砂の種類
・天然砂と岩石の砕砂
・人工的に着色・製造したもの
調合
下塗りの調合
※標準仕様書表15.11.2
塗厚
※標準仕様書表15.11.3による
・建築基準法に基づく耐力壁の指定がある場合
（　　）

工程　※A種　・B種
・土物仕上げ
種類　・土物仕上げ工法
・水ごね土物１工法　・水ごね土物２工法
・のりさし土物工法　・のりごね土物工法
・砂壁仕上げ工法
・切返し仕上げ工法
・大津仕上げ
種類　・普通大津仕上げ工法
・大津みがき仕上げ工法

16 建具工事

・ 防火戸 (16.1.3)

建具表による　・

・ 見本の製作等 (16.1.4)

建具見本の製作　・行う（建具符号：　　）
・行わない
建具見本の程度　・工事に使用するものとして、あらかじめ製作する
・納まり等が分かる程度のもの
特殊な建具の仮組　・行う（建具符号：　　）
・行わない

・ 防犯建物部品 (16.1.6)

適用する（・建具表による　・　　）
・適用しない

・ アルミニウム製建具 (16.2.2、4、5)（表14.2.1）(表16.2.1)

性能等級
耐風圧性の等級（・S-4　・　　）
気密性の等級　（・A-4　・　　）
水密性の等級　（・W-4　・　　）
外部に面する建具の種類
・A種（建具符号：・建具表による　・　　）
・B種（建具符号：・建具表による　・　　）
・C種（建具符号：・建具表による　・　　）
・D種（建具符号：・建具表による　・　　）
・E種（建具符号：・建具表による　・　　）
防音ドア,防音サッシ　遮音性の等級（・　）
（建具符号：・建具表による　・　　）
断熱ドア,断熱サッシ　G　断熱性の等級（・　）
（建具符号：・建具表による　・　　）
耐震ドア　面内変形追随性の等級（・　）
（建具符号：・建具表による　・　　）
ステンレス鋼板　・　※SUS304、SUS430JIL、又はSUS443JI
表面仕上げ　※ＨＬ　・鏡面仕上げ　・
ステンレス鋼板の曲げ加工　※普通曲げ　・角出し曲げ

・ 網戸等 (16.2.3)

種類	材種	線径	網目
・防虫網	※合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ステンレス(SUS316)製	※0.25mm以上 ・	※16～18メッシュ ・
・防鳥網	ステンレス(SUS304)線材	1.5mm	網目寸法15mm

・ 樹脂製建具 (16.2.5)（16.3.2～5）（表16.3.1）

性能等級
性能値等
耐風圧性の等級（・　・　）
気密性の等級　（・　・　）
水密性の等級　（・　・　）
外部に面する建具　・A種（建具符号：・建具表による　・　　）
・B種（建具符号：・建具表による　・　　）
・C種（建具符号：・建具表による　・　　）
・D種（建具符号：・建具表による　・　　）
・E種（建具符号：・建具表による　・　　）
防音ドア,防音サッシ　遮音性の等級（・T－1　・T－2）
（建具符号：・建具表による　・　　）
断熱ドア,断熱サッシ　G　断熱性の等級（・H－4・H－5・H－6・）
（建具符号：・建具表による　・　　）
枠の見込み寸法　・建具表による　・
表面色　・標準色　・特注色
水切り板、ぜん板　※図示　・
ガラス　※複層ガラス

・ 鋼製建具 (16.2.2)（16.4.2～4）（表16.4.2）

性能等級
簡易気密型ドアセット　・適用する（建具符号：・建具表による　・　　）
・適用しない
外部に面する建具の耐風圧性　・S-4（建具符号：・建具表による　・　　）
・S-5（建具符号：・建具表による　・　　）
・S-6（建具符号：・建具表による　・　　）

防音ドア,防音サッシ　遮音性の等級（・　）
（建具符号：・建具表による　・　　）

断熱ドア,断熱サッシ　G　断熱性の等級（・　）
（建具符号：・建具表による　・　　）

耐震ドア　面内変形追随性の等級（・　）
（建具符号：・建具表による　・　　）
ステンレス鋼板　・　※SUS304、SUS430JIL、又はSUS443JI
鋼板類の厚さ
※標準仕様書表16.4.2による

・ 鋼製軽量建具 (16.2.2)（16.5.2～4）

性能等級
簡易気密型ドアセット　・適用する（建具符号：・建具表による　・　　）
・適用しない
防音ドア,防音サッシ　遮音性の等級（・　）
（建具符号：・建具表による　・　　）
断熱ドア,断熱サッシ　G　断熱性の等級（・　）
（建具符号：・建具表による　・　　）
耐震ドア　面内変形追随性の等級（・　）
（建具符号：・建具表による　・　　）
※コマニー　ディアドCB-ACR　同等品以上
材料　鋼板　・亜鉛めっき鋼板　・ビニル被膜鋼板　・カラー鋼板　・ステンレス鋼板
ステンレス鋼板　・　※SUS304、SUS430JIL、又はSUS443JI
鋼板の厚さ（mm）　・　使用箇所（　多目的便所　）
※標準仕様書表16.5.1による
召合せ、縦小口包み板の材質　・　※鋼板

・ ステンレス製建具 (16.2.2)(16.4.2)(16.6.2～5)

性能等級
簡易気密型ドアセット　・適用する（建具符号：・建具表による　・　　）
・適用しない
外部に面する建具の耐風圧性　・S-4（建具符号：・建具表による　・　　）
・S-5（建具符号：・建具表による　・　　）
・S-6（建具符号：・建具表による　・　　）
・

防音ドア,防音サッシ　遮音性の等級（・　）
（建具符号：・建具表による　・　　）

断熱ドア,断熱サッシ　G　断熱性の等級（・　）
（建具符号：・建具表による　・　　）

耐震ドア　面内変形追随性の等級（・　）
（建具符号：・建具表による　・　　）
ステンレス鋼板　・　※SUS304、SUS430JIL、又はSUS443JI
表面仕上げ　※ＨＬ　・鏡面仕上げ　・
ステンレス鋼板の曲げ加工　※普通曲げ　・角出し曲げ

・ 木製建具 (16.7.2～4)

※木製建具仕様参照
建具材の加工、組立時の含水率　※Ｂ種　・
建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量
※規制対象外　・

・フラッシュ戸
表面材の合板の種類

合板の種類	規格等	備考
・普通合板　G	表面の樹種 生地、透明塗料塗り （※ﾗﾜﾝ程度　・　　） 不透明塗料塗り （※しな程度・　　） 板面の品質（　　） 接着の程度（・1類　・2類）	
・天然木 化粧合板　G	樹種名（　　） 接着の程度（・1類　・2類）	
・特殊加工 化粧合板　G	化粧加工の方法 （・ｵｰﾊﾞｰﾚｲ・ﾌﾞﾘｯﾄ・塗装） 表面性能（　　）タイプ 接着の程度（・1類　・2類）	

表面板の厚さ　※表16.7.6による　・

・かまち戸
かまち樹種（　　）　鏡板樹種（　　）
見込み寸法　※36mm　・建具表による　・
・ふすま
張りの種別（・Ⅰ型　・Ⅱ型）
上張り（押入等の裏側以外）　・鳥の子　・新鳥の子又はビニル紙程度
縁仕上げ　・塗り縁　・生地縁（素地）　・生地縁（ウレタンクリヤー塗装）
見込み寸法　※19.5mm　・建具表による　・
・戸,ふすま
見込み寸法　※30mm　・建具表による　・
・紙張り障子
見込み寸法　※30mm　・建具表による　・

枠、くつずりの材料　・建具表による　・

・ 建具用金物 (16.8.2、3)(表 16.8.1)

金物の種類及び見え掛り部の材質等
※標準仕様書表16.8.1及び適用は建具表による　・
金属製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ
・建具表による
※標準仕様書表16.8.3による
樹脂製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ
・建具表による
※標準仕様書表16.8.3による
木製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ
・建具表による
※標準仕様書表16.8.4による
木製建具に使用する戸車及びレール
・建具表による
※標準仕様書表16.8.5による
握り玉及びレバーハンドル、押板類、クレセントの取付け位置　・建具表による　・
・錠前類（シリンダ箱錠及びシリンダ本締まり錠）
（品質）
デッドボルトの出寸法は17mm以上とする。鍵付きのものはマスターキー、グランドマスターキー、コンストラクションキーなどのキーシステムが構築できるものとする。
（性能）
別表による
・錠前類（レバーハンドル）
（性能）
別表による
・クローザ類
（品質・性能・試験方法）
別表による

・ 鍵 (16.8.4)

マスターキー　・製作する　・製作しない
鍵の製作本数　※各室３本１組（室名札付き）　・
鍵箱　※有り　・無し

・ 自動ドア開閉装置

・引き戸用駆動装置 (16.9.2、3)
性能値　※標準仕様書表16.9.1
・種類・開閉方式　（　　）
・耐電圧　（　　）
・温度上昇　（　　）
・耐久性（サイクル）　（　　）
・防錆　（　　）
・電源　（　　）

・多機能トイレ出入り口引き戸用駆動装置
性能値　※標準仕様書表16.9.2
・耐電圧　（　　）
・温度上昇　（　　）
・耐久性（サイクル）　（　　）
・防錆　（　　）
・電源　（　　）

・引き戸用検出装置
性能値　※標準仕様書表16.9.3
・耐電圧　（　　）
・防錆　（　　）
・防滴　（　　）
・電源　（　　）

戸の開閉方式
・建具表による
引き戸用検出装置の種類　標準仕様書表16.9.4
・建具表による
凍結防止措置
・適用する　・適用しない

・ 自閉式上吊り引戸装置 (16.10.3)（表16.10.1）

性能値等　※（表 16.10.1）
・手動開き力　（　　）
・手動閉じ力　（　　）
・閉じ速度の調整　（　　）
・制動区間　（　　）
・開閉繰返し　（　　）
・耐衝撃性　（　　）
（試験方法）
別表による

・ 重量シャッター (16.11.2、3)

シャッターの種類・管理用シャッター　耐風圧強度（　）N/m2
・外壁用防火シャッター　耐風圧強度（　）N/m2
・屋内用防火シャッター
・屋内用防煙シャッター
開閉方式の種類　※上部電動式（手動併用）・上部手動式
二重チェーン、急降下制動装置、急降下停止装置を設けた電動シャッターの設置箇所
・図示
障害物感知装置を設けた電動シャッターの設置箇所　・図示
屋内用防火シャッター若しくは防煙シャッターの危害防止機構
・設ける　（設置箇所　・図示　・　　）
「防火区画に用いる防火設備等の構造方法を定める件」（昭和48 年12 月28 日建設省告示第2563号）に定める基準に適合するもの
※障害物感知装置（自動閉鎖型）　・可動座板式
・設けない
管理用シャッターのシャッターケース　・設ける　・設けない
スラット及びシャッターケース用鋼板
鋼板の種類　・JIS G 3302（溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯）
・JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯）
めっきの付着量　※Z12又はF12　・

・ 軽量シャッター (16.12.2～4)

開閉形式の種類　※手動式　・上部電動式（手動併用）
耐風圧強度（　）N/m2
スラットの材質 の種類
・JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯）
めっき付着量（※Z06又はF06　・　　）
・JIS G 3322（塗装溶融55%アルミニウム－亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯）
めっき付着量（※AZ90　・　　）
スラットの形状　・インターロッキング形　・オーバーラッピング形

・ オーバーヘッドドア (16.13.2、3)

セクション材料による区分	耐風圧性能区分(Pa)	開閉方式による区分	収納形式による区分	ガイドレールの材料
・アルミニウムタイプ ・ファイバーグラスタイプ	・125（1250） ・100（1000） ・75（750） ・50（500）	※バランス式 ・チェーン式 ・電動式	・スタンダード形 ・ローヘッド形 ・ハイリフト形 ・バーチカル形	めっき鋼板 ・ステンレス鋼板

障害物感知装置を設けた電動シャッターの設置箇所　・図示　・

・ ガラス (9.7)（16.14.2～4）（表16.14.1）

・フロート板ガラスの品種及び厚さの呼びによる種類
・建具表による

・型板ガラスの厚さによる種類
・建具表による

・網入板ガラス及び線入板ガラスの網又は線の形状、板の表面の状態及び厚さの呼びによる種類
・建具表による

・合わせガラス
材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに合わせガラスの合計厚さ
・建具表による
形状による種類
・平面合わせガラス　・曲面合わせガラス
落球衝撃はく離特性並びにショットバック衝撃特性による種類
・Ⅰ類　・Ⅱ－１類　・Ⅱ－２類　・Ⅲ類

・強化ガラス
形状による種類、材料板ガラスの種類による名称
・建具表による
破片の状態及びショットバック衝撃特性による種類
・Ⅰ類　・Ⅲ類

・熱線吸収板ガラス
板ガラスによる種類　厚さによる種類
・建具表による
性能による種類
・１種　・２種

・複層ガラス
材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに複層ガラスの厚さ
・建具表による
断熱性による区分
・T１　・T２　・T３　・T４　・T５　・T６
日射取得性、日射遮蔽性による区分
・G　・S
乾燥気体の種類
・空気　・アルゴン

・熱線反射ガラス
材料板ガラスの種類及び厚さによる種類
・建具表による
日射熱遮へい性による区分
・1種　・2種　・3種
耐久性による区分（日射熱遮蔽性による区分が2種の場合）
・A類　・B類
映像調整　・行わない　・行う

・倍強度ガラス
材料板ガラスの種類及び厚さによる種類
・建具表による

ガラスの留め材及び溝の大きさ

建具の種類	ガラス留め材	ガラス溝の大きさ(mm)
アルミニウム製	・シーリング材 ・ガスケット ・グレイジングチャンネル形 ・	・図示 ・ ・建具の製造所の仕様による
鋼製及び鋼製軽量	・シーリング材 ・	・図示 ・ ・建具の製造所の仕様による
ステンレス製	・シーリング材 ・	・図示 ・ ・建具の製造所の仕様による
樹脂製	・シーリング材 ・ガスケット ・グレイジングチャンネル形 ・	・図示 ・ ・建具の製造所の仕様による

工事名称	令和５年度毎張御苑管理事務所等防災機能強化改修工事	工事年度	令和５年度
工事場所	東京都新宿区内藤町11	図面名称	特記仕様書４
発注機関	環境省　新宿御苑管理事務所	縮　尺	N. S.
公園名称	新宿御苑	図面番号	A-05

検　印	管理建築士	設　計	製　図	設計者	名　称	宇建築設計事務所一級建築士事務所
					資格者氏名	岡本　治子
					登録番号	一級建築士　356094号
					所在地	神奈川県川崎市高津区久末1778-1-420

・ ガラスブロック

(16.14.5)

表面形状	呼び寸法	厚さ	色調 クリア	色調 乳白	目地幅(mm) 平積み	目地幅(mm) 曲面積み	伸縮調整目地(mm)	防火性能
・正方形	・125×125	80	・	・	※8～15 ・15～25 ・	外側 ※15以下 ・ 内側 ※6以上 ・	※6m以下ごとに幅10～25 ・図示 ・	※無し ・有り
	・160×160	・95 ・125	・・					
	・200×200	・95 ・125	・・					
	・320×320	95	・・					
・長方形	・250×125	80	・・					
	・320×160	95	・・					

曲面積みの曲率半径は、ガラスブロックの幅寸法の10倍以上とする。
壁用金属枠及び補強材
※図示

力骨　材質　・　※ステンレス鋼(SUS304)
寸法　・　※径5.5mm
形状　・　※はしご形状複筋及び単筋
化粧目地モルタルの色（　）
金属製化粧カバー　材質　・ステンレス製　・アルミニウム製
寸法　※図示　・
形状　※図示　・
工法
建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1　・1.15　・1.3）倍の風圧力に対応した工法
目地部の横力骨の納まり
・　・図示　※ガラスブロック製造所の仕様による

17 カーテンウォール工事

・ 取付方法、性能等

(17.1.3) (17.2.2) (17.3.2)

取付方法　・層間方式　・壁・梁方式　・方立方式　・スパンドレル方式
性能

耐震性能 水平方向(KH)	耐震性能 垂直方向(KV)		気密性	遮音性		耐火性能	耐温度差性(℃)
・1.0 ・	・0.5 ・					・30分 ・1時間	・80 ・70 ・60

耐風圧性能
建築基準法に基づき定まる風圧力（・1　・1.15　・1.3）倍の風圧力に対応した工法

主要部材の耐風圧性能（ガラスを除く）

支点間距離(h)	耐風圧性能
4m以下	・たわみ量が±(1/150)×h かつ絶対量20mm以下であること ・ ・
4mを超える	・

層間変位追従性

建築物の構造種別	層間変位量（h=支点間距離）
鉄骨造	・
鉄筋コンクリート造 鉄骨鉄筋コンクリート造	・

構造用ガスケット
・適用する　（施工箇所　・図示　・　）
材質　・クロロプレン系　・EPDM系　・シリコーン系
形状　・H型　・Y型　・C型
寸法(mm)　ガラス板厚（　）、支持枠の厚さ（　）、ウェブの寸法（　）
・適用しない

断熱材Ⓖ
種類（　）
厚さ(mm)（　）
施工箇所　・図示　・

耐火材料

施工部位	種別	規格等
・プアスナー部		
・取付けブラケット		
・パネル目地部		
・層間ふさぎ		
・		

・ メタルカーテンウォール

(17.2.2、3、5)

金属系材料の種類
・アルミニウム材　・鋼材　・ステンレス鋼材
(アルミニウム材の場合)
規格等　標準仕様書16.2.3による
種別　・　(標準仕様書表14.2.1)
着色　・　標準色　・　特注色
映像調整　・行う　・行わない

形状及び仕上げ
製品の寸法許容差　・　※標準仕様書表17.2.1による
見え掛かり部の仕上げ
ガラス溝の寸法、形状等　・　※カーテンウォールの製造所の仕様

取付け
躯体付け金物の取付け位置の寸法許容差
鉛直方向　・　※±10mm
水平方向　・　※±25mm

カーテンウォール部材の取付け位置の寸法許容差
目地の幅　・　※±3
目地の心の通り　・　※＋2
目地両側の段差　・　※＋2
各階の基準墨から各部材までの距離　・　※±3

シーリング材の種類
・
ガラスの取付け材料
・シーリング
種類
・構造ガスケット
形状・寸法等　・図示による
断熱材　Ⓖ
種類　（　）

・ ＰＣカーテンウォール

(17.3.2～5)(表17.3.1、2)

材料
コンクリート　種類　（　）
品質　設計基準強度(Fc)　・　※　30N/mm2
スランプ　・　※　12cm
気乾単位容積質量
・
・普通コンクリートの場合
2.1t/m3を超え2.5t/m3以下
単位水量の最大値　・　※185kg/㎥
鉄筋　種類の記号　※SD295A（　・　・　）
補強鉄線
径(mm)　・3.2　・4.0　・5.0　・6.0
網目寸法　・
シーリング材の種類
・

耐火目地材　・
断熱材　Ⓖ
種類　（　）

ガラスの取付け材料
・シーリング
種類　・
・構造ガスケット
形状・寸法等　・図示による
先付けの材料
・表面仕上材
・磁器質タイル
・石材（・花こう岩　・大理石　・　）
・
・建具枠
・ゴンドラ用ガイドレール
形状及び仕上げ
製品の見え掛り部の寸法許容差
・辺長　mm　対角線長の差　mm　版厚　mm
開口部内法寸法　mm　ねじれ、そり　mm
曲がり　mm　面の凹凸　mm　先付け金物の位置　mm
カーテンウォールの仕上げ　・
構造ガスケットを用いる場合のアンカー溝の寸法及び寸法許容差(mm)
・
・躯体取付金物の取付け位置の寸法許容差　※標準仕様書表17.3.2による

18 塗装工事

・

(18.1.3)

屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放散量
※規制対象外　・
・防水材料　※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする。
・次の箇所を除き防火材料とする。（箇所：　）

⊙ 素地ごしらえ

(18.2.2～7)

下地面等		種別
木部	不透明塗料塗りの場合	※A種　・B種
	透明塗料塗りの場合	※B種　・A種
鉄鋼面		※C種　・A種　・B種
亜鉛めっき鋼面		・A種　・B種
モルタル面及びプラスター面		※B種　・A種
コンクリート面（DP以外）及びＡＬＣパネル面		※B種　・A種
押出成形セメント板面		※A種　・B種
せっこうボード面及びその他ボード面	目地：継目処理工法	※A種　・B種
	目地：継目処理工法以外	※B種　・A種

⊙ 錆止め塗料塗り

(18.3.2、3)

下地面等		工程の種別	塗料の種別
鉄鋼面	見え掛り部分	※A種　・B種	・A種　・B種
	見え隠れ部分	※B種　・A種	EP-G（屋内）の場合 ※B種　・A種
亜鉛めっき鋼面	鋼製建具等	※A種　・B種	・A種　・B種
	鋼製建具等以外	※B種　・A種	・C種 (EP-Gの場合C種)

⊙ 塗装

(18.4.1～18.14.2)

塗装		種別	塗料の種類	高日射反射率塗料の適用Ⓖ
・合成樹脂調合ペイント塗り(SOP)	木部屋外	※A種　・B種	※1種　・2種	
	木部屋内	※B種　・A種	※1種　・2種	
	鉄鋼面	※B種　・A種	※1種　・2種	・
	亜鉛めっき鋼面	－	※1種　・2種	・
・クリヤラッカー塗り(CL)		※B種　・A種	－	
・アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り(NAD)		※B種　・A種	－	
●耐候性塗料塗り(2-FUE)	●鉄鋼面	－	●上塗り塗料の等級(1)級	Ⓖ
	亜鉛めっき鋼面　－		上塗り塗料の等級(1)級	・
	ｺﾝｸﾘｰﾄ面及び押出・成形ｾﾒﾝﾄ板面	・A種　・B種 ・C種		
・つや有合成樹脂エマルションペイント塗り(EP-G)	ｺﾝｸﾘｰﾄ面等、モルタル面、プラスター面、せっこうボード面、その他ボード面等	※B種　・A種	－	
	屋内の鉄鋼面	※B種　・A種	－	
・合成樹脂エマルションペイント塗り(EP)		※B種　・A種	－	
・合成樹脂エマルション模様塗料塗り(EP-T)		※B種　・A種	－	
・ウレタン樹脂ワニス塗り(UC)		※B種　・A種	－	
・オイルステイン塗り(OS)		塗料：・水性 ・油性	－	
			－	

高日射反射率塗装（Ⓖを適用する場合の適用箇所は屋上、屋根面の金属面とする

19 内装工事

・ 接着剤

(19.2.2)

接着剤のホルムアルデヒド放散量
※ 規制対象外　・
接着剤は可塑剤(難揮発性の可塑剤を除く)が添付されていないものとする
施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地以外の場合の接着剤の種別
・図示

・ ビニル床シート Ⓖ

(19.2.2、3)

種類の記号	色柄	厚さ(mm)	備考
※FS（複層ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ） ・	・無地 ・ﾏｰﾌﾞﾙ柄 ・柄物	※ 2.0 ・	

目地処理する場合の工法　・　※ 熱溶接工法

・ ビニル床タイル Ⓖ

(19.2.2)

種類の記号	色柄	寸法(mm)	厚さ(mm)	備考
・ＴＴ（単層ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ）	・無地 ・柄物	・300×300 ・450×450 ・	・2.0 ・	
・ＦＴ（複層ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ）	・無地 ・柄物	・300×300 ・450×450 ・	・2.0 ・2.5 ・3.0	
※ＫＴ（ｺﾝﾎﾟｼﾞｼｮﾝﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ）	・無地 ・柄物	・300×300 ・450×450 ・	・2.0 ・3.0	
・ＦＯＡ（置敷きﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ）	・無地 ・柄物	・500×500 ・	・4.0 ・	
・ＦＯＢ（薄型置敷きﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ）	・無地 ・柄物	・	・	

・ 特殊機能床

(19.2.2)

・導電防止床シート
種類　（　）
性能　（　）
厚さ　（　mm）
・帯電防止床タイル
種類　（　）
性能　（　）
寸法　厚さ　（　×　mm）
・視覚障害者用床タイル
視覚障害者誘導用ブロック等の突起の形状・寸法及びその配列はJIS T 9251による
種類　（　）
形状　（　）
・耐動荷重性床シート
種類　（　）
厚さ　（　mm）
・防滑性床シート
種類　（　）
厚さ　（　mm）
・防滑性床タイル
種類　（　）
寸法　厚さ　（　×　mm）

・ ビニル幅木

(19.2.2)

材質の種類　・軟質　・硬質
高さ(mm) ※60　・75　・100
厚さ(mm)　・　※1.5以上

・ ゴム床タイル

(19.2.2)

種類　・単層品　・複層品
色柄　（　）
厚さ(mm)　・3.0　・4.5　・6.0　・9.0
寸法(mm)（　）

・ カーペット敷き Ⓖ

織り方	パイル形状
・ウィルトンカーペット	・カットパイル
・ダブルフェースカーペット	・ループパイル
・アキミンスターカーペット	・カット/ループパイル

色柄（・　※模様のない無地）
パイル糸の種類等
※無地の織りじゅうたんの種別（・A種　・B種　・C種）
・
帯電性　・適用する　・適用しない

織じゅうたんの接合方法　※ヒートボンド工法
下敷き材　※反毛フェルト（JIS L 3204）の第2種2号　呼び厚さ 8mm

・タフテッドカーペット

パイル形状	ﾊﾟｲﾙ長さ(mm)	工法	帯電性	備考
・カットパイル	・5～7　・	※全面接着工法 ・ﾀﾞﾘｯﾊﾟｰ工法	適用する（　） ・適用しない	
・ループパイル	・4～6　・			
・カット、ループ併用	・			

下敷き材(グリッパー工法の場合)
※反毛フェルト（JIS L 3204）の第2種2号　呼び厚さ 8mm　・

・ニードルパンチカーペット
厚さ（mm）（　）
帯電性　・適用する
・適用しない
備考（　）

・タイルカーペット

パイル形状	種別	施工箇所	寸法(mm)	総厚さ(mm)	備考
※ ループパイル	※ 第一種 ・第二種		※ 500×500 ・	※ 6.5 ・	
・カットパイル	・第二種		※ 500×500 ・	・	
・カット・ループ併用	・第二種		※ 500×500 ・	・	

タイルカーペットの敷き方　平　場　※市松敷き　・模様流し　・
階段部分　※模様流し　・市松敷き　・

見切り、押え金物
材質　（　）
種類　（　）
形状等　※図示　・

・ 合成樹脂塗床

(19.4.2、3)(表 19.4.4、5)

種別	施工箇所	工法	仕上げの種類
・厚膜型塗床材 弾性ｳﾚﾀﾝ樹脂系塗床材			※平滑仕上げ ・防滑仕上げ ・つや消し仕上げ
・厚膜型塗床材 ｴﾎﾟｷｼ樹脂系塗床材		・薄膜流し展べ工法 ・厚膜流し展べ工法 ・樹脂ﾓﾙﾀﾙ工法	・平滑仕上げ ・防滑仕上げ
・薄膜型塗床材			※平滑仕上げ

塗料のホルムルデヒド放散量　※規制対象外

・ フローリング張り Ⓖ

(19.5.2～6)(表 19.5.1～5)

・単層フローリング　（フローリングボード１等）
工法　・釘留め工法（　・根太張り　・直張り）
・接着工法
樹種　・　※　なら
間伐材等の適用　・適用する　・適用しない

・単層フローリング　（フローリングブロック1等）
樹種　・
厚さ
大きさ
間伐材等の適用　・適用する　・適用しない

・複合フローリング
工法　・釘留め工法（　・根太張り　・直張り）
・接着工法
樹種　・　※　なら
種別　・A種　・B種　・C種
間伐材等の適用　・適用する　・適用しない

フローリング及び接着剤のホルムアルデヒドの放散量　※ 規制対象外　・
接着工法の場合の裏面緩衝材　※合成樹脂発泡シート　・
・現場塗装仕上げ
※ウレタン樹脂ワニス塗り
オイルステインの上、ワックス塗り
・工地のままワックス塗り

・ 畳敷き

(19.6.2)(表 19.6.1)

種別　・A種　・B種　・C種　・D種（畳床：・KT-Ⅰ・KT-Ⅱ・KT-Ⅲ・KT-K・KT-N）
下地の種類　・種類仕様書　表12.6.1による床組
・ポリスチレンフォーム床下地（ノンフロン　）Ⓖ
・
畳表及び畳床はホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しないか、
発散が極めて少ない材料を使用したものとする。

・ せっこうボード、その他のボード及び合板張り

(19.7.2、3)(表 19.7.1)

合板類、MDF及びパーティクルボード、接着剤のホルムアルデヒド放散量
※規制対象外　・

種類等	厚さ(mm)、規格等
・木質系セメント板　Ⓖ	
・木毛セメント板 ・硬質　・中質　・普通	・15　・20　・25
・木片セメント板 ・硬質　・普通	・12　・15　・18　・21　・30
・繊維板　Ⓖ	
・ＭＤＦ（普通）	・3　・7　・9　・12　・
・ハードボード（素地）	・　研磨板（・ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞ　・ﾃﾝﾊﾟｰﾄﾞ） ・研磨板　（・ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞ　・ﾃﾝﾊﾟｰﾄﾞ）ＲＳ
・ハードボード（化粧）	内装用 ＤＩ・外装用　ＤＥ ・2.5　・3.5　・5　・7
・インシュレーションボード	A級（天井仕上げ　・内装仕上げ　・　） ・9　・12　・15　・18
・	・
・パーティクルボード　Ⓖ	
・単板張りパーティクルボード	・無研磨板　ＶＮＶＳ研磨板 ・10　・12　・15　・18
・化粧パーティクルボード	・単板ｵｰﾊﾞｰﾚｲ　ＤＶ ＤＶ Ⓖｱｯｸｽｵｰﾊﾞｰﾚｲ ・塗装　ＤＣ ・10（難燃）　12（難燃）・
・	・
・吸音材料	
・ロックウール化粧吸音板	・フラットタイプ　・9(不燃)　・12(不燃) ・　） ・凹凸タイプ（・12(不燃)　・15(不燃) ・　）
・ロックウール吸音ボード（1号）	・25　・
・グラスウール吸音ボード（32Ｋ）	・25（ｶﾞﾗｽｸﾛｽ包）　・
・	・
・せっこうボード	
・せっこうボード	※ 12.5（不燃）　・15（不燃）
・不燃積層せっこうボード	9.5（不燃）　・化粧無（下地張り用） ・化粧有（トラバーチン模様）
・シージングせっこうボード	12.5（・不燃　・準不燃）
・強化せっこうボード	・12.5（不燃）　・15（不燃）
・せっこうラスボード	9.5
・化粧せっこうボード	・木目　12.5（不燃）幅 440mm 程度 模様（・柾目　・板目）専用下地材有り ・ﾄﾗﾊﾞｰﾁﾝ模様　9.5 (準不燃)
・	・
・普通合板　Ⓖ	表板の樹種名　・ 板面の品質（　） 厚さ　※図示 接着の程度　・1類　・2類 防虫処理　・行う　・行わない

工事名称	令和５年度駐留軍等労働者宿舎防災機能強化改修工事	工事年度	令和５年度
工事場所	東京都新宿区内藤町11	図面名称	特記仕様書５
発注機関	環境省　新宿御苑管理事務所	縮　尺	N. S.
公園名称	新宿御苑	図面番号	A-06

検　印	管理建築士	設　計	製　図	設計者	名　称	宇建築設計事務所一級建築士事務所
					資格者氏名	岡本　治子
					登録番号	一級建築士　356094号
					所在地	神奈川県川崎市高津区久末1778-1-420

・天然木化粧合板 G	化粧板の樹種名　・ 厚さ　※図示 接着の程度　・1類　・2類 防虫処理　・行う　・行わない
・特殊加工化粧合板 G	化粧加工の方法（・ｵｰﾊﾞｰﾚｲ・ﾌﾟﾘﾝﾄ・塗装・　　） 表面性能　・ 厚さ　※図示 接着の程度　・1類　・2類 防虫処理　・行う　・行わない
・けい酸カルシウム板（タイプ２）	・６　・８
・メラミン樹脂化粧板	JIS K 6903 による　（※1.2　・　　）
・ポリエステル樹脂化粧板	・
・	・

せっこうボード等の下地は図示による。

遮音シール材　　・適用する（・シーリング材　・ジョイントコンパウンド）
　　・適用しない

合板類の張付け　※B種　・A種
せっこうボードの目地工法　・仕上表による　・

・壁紙張り　(19.8.2、3)

ホルムアルデヒド放散量　※規制対象外

施工箇所	壁紙の種類					防火性能	備考
	紙	織維	プラスチック	無機質	その他		
	・	・	・	・	・	・不燃・準不燃	
	・	・	・	・	・	・不燃・準不燃	
	・	・	・	・	・	・不燃・準不燃	
	・	・	・	・	・	・不燃・準不燃	

モルタル・プラスター面の素地ごしらえ　※B種　・A種
コンクリートの素地ごしらえ　※B種　・A種
せっこうボード面の素地ごしらえ　※B種　・A種

・断熱材 G　(19.9.2、3)

フェノールフォームを使用した断熱材のホルムアルデヒド放散量

・断熱材打込み工法

種類	厚さ(mm)	施工箇所
・ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材	・	・
・押出法ポリスチレンフォーム断熱材（スキン層なし）	・50	・接地部分
・硬質ウレタンフォーム断熱材		・
・フェノールフォーム断熱材	・30	・屋根
	・	・
		・

・断熱材現場発泡工法
　断熱材の種類　・　　※A種1またはA種1H
　吹き付け厚さ（mm）　・25　・30　・
　施工箇所　・図示　・
・現場発泡断熱材
(品質・性能・試験方法)
　別表による

20 ユニット及びその他の工事

・フリーアクセスフロア　(20.2.2)

施工箇所	構　法	寸法(mm)	高さ(mm)	耐震性能	所定荷重(N)	表面仕上材	備考
	・置敷式 ・支柱鋼整式	・500×500 ・		・1.0G ・0.6G	・3000 ・ ・5000	・帯電防止床ﾀｲﾙ ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ ・	

方法精度
　・　　※標準仕様書20.2.2(2)(オ)(a)～(c)による
　パネルの長さ
　　※各辺の長さが500mmを超える場合　±0.1%以内
　　500mm以下の場合　±0.5mm以内
　・
　パネルの平面形状（角度）
　　※各辺の長さが500mmを超える場合　±0.1%以内
　　500mm以下の場合　±0.5mm以内
　・
　フリーアクセスフロアの高さ
　　※　±0.5mm以内
　・
(性能・試験方法)
　別表による

・可動間仕切　(20.2.3)

構造形式による種類	構成基材の種類		表面仕上材	遮音性(db/500Hz)	防火性能
	スタッド	パネル	パネル表面仕上げ		
・スタッド式(内蔵) ・スタッド式(露出) ・パネル式 ・スタッドパネル式			・ﾒﾗﾐﾝ樹脂焼付又はｱｸﾘﾙ樹脂焼 ・壁紙張り ・	・0 ・12 ・20 ・28 ・36	・不燃

パネル内に取付ける建具・あり（※図示　・　　）・なし
ドアクローザー、丁番、錠前、上げ落としは、標準仕様書16章8節の建具用建物に対応する材質とする。
表面仕上材を壁紙張りとする場合の品質、性能は標準仕様書19章による
パネル材料のホルムアルデヒド放出量　※JIS A 6512によりＦ☆☆☆☆以上

・移動間仕切　(20.2.4)

構造形式	操作方法	圧縮装置の操作方法	総厚さ(mm)	パネル表面仕上材		遮音性(db/500Hz)
				材質	パネル表面仕上げ	
・平行方向 移動式 ・二方向 移動式	・手動式 ・電動式 ・部分電動式	・プッシュ式 ・ハンドル式 ・		・鋼板 ・	・焼付塗装 ・壁紙張り ・	・36未満 ・36以上

パネル表面仕上げの壁紙張りの品質、性能は標準仕様書19章による
遮音性能は、JIS A 6512に準拠し、中心周波数500Hzの音についての透過損失とする
ハンガーレールの取付け下地の補強
　・図示
　※取付け金具重量の５倍以上の荷重に対して、使用上支障のない耐力及び変形量となるように補強する。
ランナー
　・
　※パネル重量の５倍の荷重を、パネル１枚に使用するランナー数で除した値に対して、耐力及び変形量が使用上支障のないものとする。

(品質・性能及び試験方法)
　別表による

・トイレブース　(20.2.5)

表面材の種類	脚部	ドアエッジ	
	形状形状	材質	
・メラミン樹脂系化粧板 ・ポリエステル樹脂系化粧板	※福木タイプ ・	・標準 ・R	・アルミニウム製 ・ステンレス製 ・表面材と同材

(品質・性能・試験方法)　　別表による

・階段滑り止め　(20.2.6)

材種　（・ステンレス製　・黄銅製押出型材　・アルミニウム製押出型材　・　　）
滑り止め材　形状　（　・ひも型　・タイヤ型　）
　　材質　（　ゴム又は合成樹脂　）
取付け工法　※接着工法　・埋め込み工法
幅(mm)　　端部フラットエンド（・あり　・なし）

・手すり　(20.2.7)

材種	表面仕上げ	直径(mm)	取付箇所	備考
・集成材	・クリアラッカー ・	・35 ・45 ・		
・ビニル製ハンドレール	・			

・巾板及び
　ホワイトボード G　(20.2.8)

・巾板
　区分　・　　※挽き付け
　種類　・　　・鋼製巾板　・ほうろう巾板　・
　色　・　　未統
・ホワイトボード

・　(20.2.9)

取付箇所　（　　）
寸法（mm）　・図示　・
厚さ（mm）　※５　・

・表示　(20.2.10)

・衝突防止表示
　形状・寸法　（　・３０φ　・図示　　）
　材質　（　・ステンレス製　・　　）

案内用図記号はJIS Z 8210による。
誘導標識、非常用進入口等の表示
・適用する（※消防法に適合する市販品　・　　）
色、書体、印刷等の種別、取付け形式等は図示による。
その他の表示　※図示

・煙突ライニング　(20.2.11)

・煙突用成形ライニング材
(品質・性能・試験方法)
　別表による

・ブラインド　(20.2.12)

形　式	操作方法	種　類	スラットの材種	ｽﾗｯﾄ幅(mm)	ｶﾞｲﾄﾞﾚｰﾙの材種	幅・高さ取付箇所
・横型	・手動	※ギヤ式 ・コード式 ・操作棒式	※ アルミニウム合金製 G ・	※ 25 ・	※鋼製 ・	・図示 ・
	・電動	－				
・縦型	・手動	※２本操作ｺｰﾄﾞ式 ・１本操作ｺｰﾄﾞ式	・アルミスラット ・クロススラット ・	・80 ・100	ｱﾙﾐﾆｳﾑ合金製	・図示 ・
	・電動	－				

スラットの材質
・アルミスラット　焼付け塗装仕上げ
・クロススラット　消防法で定める防炎性能の表示がある特殊樹脂加工
ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品を使用する場合は G とする。

・ロールスクリーン G　(20.2.13)

操作方式　・スプリング式　・コード式　・電動式
幅・高さ　・図示
材種　・ガラス繊維製　・合成・天然繊維製　・木製
品質等　・
その他の材料　・　　※ロールスクリーンの製造所の仕様による

・カーテン　(20.2.14)

形式		開閉操作	ひだの種類	多孔地の種類品質、特殊加工等	取付箇所	備考
・シングル ・ダブル・引分け	・片引き	・手引き ・ひも引き ・電動	・フランスひだ ・箱ひだ、つまひだ ・プレーンひだ、片ひだ		・図示 ・	
					(暗幕)	

ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品を使用する場合は G とする。
暗幕カーテンの両端、上部及び召合せの重なり　※300mm以上　・

・カーテンレール　(20.2.14)

材料による区分
　　※ アルミニウム又はアルミニウム合金の押出し成型材
　　・ ステンレス製
強さによる区分　※10-90　・
仕上げ　※アルマイト　・
形状　※角形　・

・ブラインドボックス及びカーテンボックス

溝型×深さ（mm）　・90×150　・120×80　・120×150　・150×80　・図示
材質　・集成材（仕上げ：　　）
　　・アルミニウム製　押出し型材（市販品）
　種別（標準仕様書表14.2.1）　・BC-1　・BC-2
　色合い　・標準色（　　）　・特注色（　　）
　・鋼製（仕上げ：　　）

・天井点検口

・	・450×450 ・600×600 ・	・一般形 ・気密形	・屋内外用 ・屋内用	・額縁タイプ ・目地タイプ	・額縁タイプ ・目地タイプ

(品質・性能・試験方法)
　別表による

・床点検口

		形式		
・アルミニウム製 ・ステンレス製 ・鋼製	・450×450 ・600×600 ・	・一般形 ・密閉形	・屋内外用 ・屋内用	・縫付き

(品質・性能・試験方法)
　別表による

・耐震スリット

方　向	タイプ	耐火性能	防水性能	備考
・鉛直方向 ・水平方向	※ 完全（全貫通型） ・	・耐火型 ・非耐火型	・有り ・無し	

目地

目地	内壁	外壁
目地材	・シーリング材(見え掛かりのみ) ・	・シーリング材(見え掛かりのみ) ・シーリング材（内外とも）
目地寸法（mm）	・幅20×深さ10　・幅20×深さ10 ・	・

目地材の材質は標準仕様書9.7.1による

・止水板

形式　・差込式　・据置式　・壁張り式
施工箇所　・図示

・エキスパンション・ジョイント金物

材種	クリアランス(mm)	耐火性能	備考
・アルミニウム製 ・ステンレス製	50　・100 ・150	・有り（　　） ・無し	

外部は防水型とする

・くつぶきマット

材種	受け枠	備考
・塩化ビニル又はゴム製 ・硬質アルミニウム合金製 ・ステンレス鋼（SUS304）製 ・	・ステンレス鋼（SUS304） ・硬質アルミニウム合金	

・流し台ユニット

材種	寸法(mm)			備考
	W D H			
・流し台	・1200 ・1500 ・1800	・550 ・600 ・650	・800 ・850	市販品 トラップ付き 天板ステンレス製
・コンロ台	・600	・550 ・600 ・650	・620 ・670	市販品 バックガード有り 天板ステンレス製
・つり戸棚	・1200 ・900	・450	・500 ・700	市販品
・水切り	・1200 ・900 ・600	・　・		市販品 ステンレス製 ・1段式　・

品質・性能
（1）外観は、JIS A 4420（キッチン設備の腐成材）の4.1による
（2）構成材は、JIS A 4420により試験を行ったとき、表1の規定による。
形状　※図示　・

・旗竿

材種	形式	高さ(mm)	操作方法	固定方法	備考
・アルミニウム合金製 ・	・テーパー式 ・同一断面式		・ハンドル式 ・ロープ式	・埋込式 ・ベース式 ・バンド式	

・旗竿受金物　材　種　・ステンレス製（SUS 304）・

・車止め支柱

			径径、肉厚(mm)	高さ(mm)
・上下式旗内蔵式	・標準品 ・スプリング式	・ステンレス製 ・	・	・
・				

・フェンス

フェンスの種類　・ビニル被覆エキスパンドフェンス
　　・樹脂塗装メッシュフェンス
　　・鋼管フェンス
　　・アルミフェンス
高さ　・図示　・

・プレキャストコンクリート　(20.3.3、4)

コンクリートの設計基準強度
　※水セメント比55%以下、単位セメント量の最小値300kg/m²を満足する調合強度
　・図示
配筋
　※配筋を定めた計算書を監督職員に提出する。
　・図示
取付け方法
　※図示

・間知石及びコンクリート間知ブロック積み　(20.4.2、3)

材種	種類	質量区分	備考
・化こう岩 ・凝灰岩	－		
・コンクリート間知ブロック	－	・A ・B	

積み方　※谷積み　・布積み
目塗り　・図示
伸縮調整目地　材種　・図示　・
　　厚さ　・図示　・

種　類規格等	JISによる種類
・鋼製書架	JIS S 1039 の規格による
・鋼製物品棚	・１種　・２種　・３種 ・４種　・５種　・６種

・鋼製書架及び物品棚

・屋内掲示板

枠の材質　※ アルミニウム製
表面の材質　※ 塩ビ発泡シート張り　・

・洗面カウンター

・図示
材　種　・メラミン樹脂化粧板張り（心材：集成材）　・人工大理石
奥行き(mm)　・約 450　・約 600

・防犯垂れ壁

・固定式

材　質	厚さ(mm)	高さ(mm)	備　考
※ 網入り磨板ガラス ・網入り磨板ガラス	※ 6.8 ・	※ 500 ・	アルミ製枠付き

・可動式

種　類	材　質	高さ(mm)	備　考
・垂直降下式（巻取り型）	※ 不燃布（不燃認定品）	※ 500 ・800 ・	ガイドレール ※ 固定式（壁埋込型） ・可動式（天井収納型）
	鋼板製又はアルミ製	・800 ・	表面仕上げ ※ 天井材張り ・

降下機構　煙感知器連動及び手動開放装置（埋込型）

・屋外掲示板

照明器具　※ 有り　・　無し
施　錠　※ 有り　・　無し
製造所

・収納家具

材質、形状、寸法　※ 図示
合板類、MDF 及びパーティクルボードのホルムアルデヒドの放散量
※規制対象外　・

21 排水工事

・屋外雨水排水

材料　(21.2.1、2)(表 21.2.1、2)

材種	種類・記号	形状	呼び径	備考
・遠心力鉄筋コンクリート管	※ 外圧管（１種）	・B形管 ・・	※図示	
・硬質ポリ塩化ビニル管	・RF-VP G		※図示　・	
	・RS-VU G		※図示　・	
	・VP		※図示　・	
	・VU		※図示　・	

基床の厚さ及び種類　・図示　・
硬質ポリ塩化ビニル管の継手に用いる材料　※接着剤　・
側塊の形状及び寸法　・図示　・
排水桝の種類　・図示　・
砂地業に用いる材料
　・シルト　・山砂　・川砂　・砕砂
砂利地業に用いる材料
　・再生クラッシャラン G　・切込砂利又は切込砕石

・現場打ちの場合のコンクリート材料　設計基準強度　・　※18N/mm2
・現場打ちの場合の鉄筋　種類の記号　※SD295A
・現場打ちの場合の足金物　※標準仕様書21.2.2(6)(ｵ)
　材質　・ステンレス製　・鋼製　・合成樹脂被覆加工されたもの
凍上抑制層に用いる材料　・
砂の粒度試験　・行う
　　・行わない

・鋳鉄製ふた　(21.2.1)

名称	種類	適用荷重	蝶番	備考
鋳鉄製マンホールふた	・水封形 ・簡易密閉形（パッキン式） ・密閉形（テーパ・パッキン式） ・中ふた付き密閉形（テーパ・パッキン式）	・Ｔ－２用 ・Ｔ－６用 ・Ｔ－２０用 ・	・有り ・無し	左記以外の品質等は（公社）空気調和衛生工学会 SHASE-S209による

工事名称	令和５年度翰苑御苑管理事務所等防災機能強化改修工事	工事年度	令和５年度
工事場所	東京都新宿区内藤町11	図面名称	特記仕様書６
発注機関	環境省　新宿御苑管理事務所	縮　尺	N. S.
公園名称	新宿御苑	図面番号	A-07
検　印	管理建築士 / 設　計 / 製　図	設計者	名　称：宇建築設計事務所一級建築士事務所 資格者氏名：岡本　治子 登録番号：一級建築士　356094号 所在地：神奈川県川崎市高津区久末1778-1-420

・グレーチング (21.2.1)

材質	形式適用荷重	用途		メッシュピッチ	亜鉛めっき（付着量）	上面形状
・鋼製	・受枠付き、ボルト固定 ・	・溝ふた（格断用） ・溝ふた（側溝用） ・桝ふた用 ・U字溝用	・歩行用	・細目	・（　　）	・凹凸形 ・
			・T-2用 ・T-6用 ・T-14用 ・T-20用	・普通目 ・粗目	・（　　）	・平形 ・
・ステンレス製	・受枠付き、ボルト固定 ・	・溝ふた（格断用） ・溝ふた（側溝用） ・桝ふた用 ・U字溝用	・歩行用	－	－	・凹凸形 ・
			・T-2用 ・T-6用 ・T-14用 ・T-20用	－	－	・平形 ・

（品質・性能・荷重試験方法）
別表による

・街きょ、縁石及び側溝 (21.3.1.、2)(表21.3.1)

街きょ、縁石、側溝

種類	形状、寸法
・縁石	・図示
・L形側溝	・図示
・U形側溝	・図示
・U形側溝ふた	・図示
・	・図示

地盤の材料
・シルト　・山砂　・川砂　・砕砂
砂利地業に用いる材料
・再生クラッシャラン　・切込砕石　・切込砕石
砂利地業の厚さ　※100（mm）　・図示
・現場打ちの場合のコンクリート材料　設計基準強度　※18N/mm2　・
表土抑制層に用いる材料　・
砂の粒度試験　・行う
・行わない

・埋戻し土 (21.2.1)
※B種

22 舗装工事

・路床 (22.2.2、3、5)(表22.2.1)

路床の材料

種別	材料	厚さ(mm)
・盛土	・A種　・B種　・C種　・D種 ・建設汚泥から再生した処理土 G	・図示 ・
・表土抑制層	・再生クラッシャラン　・クラッシャラン　・切込み砂利 ・砂	・図示 ・
・フィルター層	・砂 ・	・図示 ・

・路床安定処理
安定処理の方法　・置き換え工法　・安定処理工法

路床安定化処理用添加材料
種類　・普通ポルトランドセメント　・高炉セメントB種 G
・フライアッシュセメントB種
・生石灰（　　）　・消石灰（　　）
添加量　・　　kg/m3（目標CBR　・3以上　・　　）

・ジオテキスタイル
単位面積質量　・60g/m 以上　・　2
厚さ(mm)　・0.5～1.0　・
引張強さ　・98N/5cm（10kgf/5cm）以上　・
透水係数　・1.5×10 cm/sec以上 -1　・
試験
砂の粒度試験　・行う　・行わない
路床土の支持力比（CBR）試験　・行う　・行わない
路床締固め度の試験　・行う　・行わない
現場CBR試験　・行う　・行わない

・路盤 (22.2.2、3、5)(表 22.3.1)

路盤の厚さ　・図示　・
路盤材料

	種類
砕石	・クラッシャラン
	・粒度調整砕石
再生材	・クラッシャラン G
	・粒度調整砕石 G
・クラッシャラン鉄鋼スラグ	
・粒度調整鉄鋼スラグ	G
・水硬性粒度調整鉄鋼スラグ	G
路盤締固め度の試験　※行う　・行わない	

・アスファルト舗装 (22.4.2～6)(表 22.4.4)

アスファルト舗装の構成及び厚さ　※図示　・
材料及び種類
アスファルト　・再生アスファルト　（・60～80　・80～100）
・ストレートアスファルト
骨材　・道路用砕石
・アスファルトコンクリート再生骨材 G

加熱アスファルト混合物等の種類
・密粒度アスファルト混合物(13)
・粗粒度アスファルト混合物(13)
・密粒度アスファルト混合物(13F)

シールコートの乳剤の種別
・PK-1　・PK-2

試験
アスファルト混合物等の抽出試験　・行う　・行わない
舗装の平たん性　※通行の支障となるホたまりを生じない程度

・コンクリート舗装 (22.5.2～4、6)(表22.5.、3)　1

コンクリート舗装の構成及び厚さ

舗装の種類	構成		
コンクリート舗装	車路及び駐車場	・図示	・図示　・
	歩行者用通路	・図示	※70　・

寒冷地の縁部立下り寸法等　・図示
材料
・コンクリートの種類　・
設計基準強度　・
所定のスランプ　※8　・
粗骨材の最大寸法　・
※普通コンクリート、標準仕様書表22.5.1による
早強ポルトランドセメント　・使用する　・使用しない
注入目地材料　※低弾性タイプ　・高弾性タイプ
目地
種類
間隔　・　m程度ごと
構造　・図示　・
※標準仕様書表22.5.3及び図22.5.1による
試験
アスファルト混合物等の抽出試験　・行う　・行わない
舗装の平たん性
※通行の支障となる水たまりを生じない程度

・カラー舗装 (22.6.2～4)

・加熱系カラー舗装
構成・厚さ　・図示
加熱系混合物の結合材
・アスファルト混合物
・石油樹脂系混合物　顔料の添加量　（　　%）
着色骨材　（　　）
自然石　（　　）

・常温系カラー舗装
工法　・ニート工法　・塗布工法
着色部の下部　・アスファルト舗装　・コンクリート舗装　・

・透水性アスファルト舗装 (22.7.2、3、6)

適用範囲：小型
構成　・図示　・
材料
骨材　・道路用砕石
・アスファルトコンクリート再生骨材　（表22.4.1）G
（種類　・60～80　・80～100）

試験
開粒度アスファルト混合物等の抽出試験　・行う　・行わない
砂の粒度試験　・行う　・行わない
舗装の平坦性　・　※著しい不陸がないもの

・ブロック系舗装

・コンクリート平板舗装 G (22.8.2、3)

種類	寸法(mm)厚さ(mm)		目地材	備考
※普通平板(N) ・透水平板(P) ・保水性平板(M)	・300角 ・	※60 ・	砂砂 ・もみ	表面加工 ・研ぎ出し ・洗い出し ・たたき出し

クッション材　※砂　・空隙りモルタル
普通平板は（再生材料を用いた舗装用ブロック）、透水平板は（透水性コンクリート）G
とする。
仕上り面の平たん性　・
※歩行に支障となる段差がないものとし、歩石間の段差は3mm以内とする。

・インターロッキングブロック舗装 G

種　類	部位形状	寸法		厚さ(mm)	曲げ強度 (N/mm 2)	備考
※ 普通ブロック（N） ・ 透水性ブロック（P） ・ 保水性ブロック（M）	車路	図示 ・		※80 ・	※5.0 ・	表面加工 ・
※ 普通ブロック（N） ・ 透水性ブロック（P） ・ 保水性ブロック（M）	歩行者用 道路	・図示 ・		※60 ・	※3.0 ・	

クッション材　※砂　・空隙りモルタル
歩行者用道路に使用する普通ブロックは（再生材料を用いた舗装用ブロック）、
透水性ブロックは（透水性コンクリート）とする。
仕上り面の平たん性　・
※歩行に支障となる段差がないものとし、インターロッキングブロック間
の段差は3mm以内とする。

・舗石舗装

種　類	形状・寸法(mm)	厚さ(mm)	施工方法	基　層	基層の厚さ (mm)
・花崗岩 ・	・割石 ・図示 ・	・	・うろこ張り ・	・コンクリート平板 ・アスファルト混合物	※70 ・ ※50 ・

クッション材　※砂　・空隙りモルタル
歩行者用道路に使用する普通ブロックは（再生材料を用いた舗装用ブロック）、
透水性ブロックは（透水性コンクリート）とする。
仕上り面の平たん性　・
※歩行に支障となる段差がないものとし、歩石間の段差は3mm以内とする。

ジオテキスタイル
単位面積質量　・60g/m 以上　2　・
厚さ(mm)　・0.5～1.0　・
引張強さ　・98N/5cm(10kgf/5cm)以上　・
透水係数　・1.5×10 cm/sec以上 -1　・

・砂利敷き (22.9.2)

種別
・A種（施工範囲：・図示　・道路　・　　）
・B種（施工範囲：・図示　・建物周囲その他　・　　）

・路面標示用塗料 (23.1.3)

路面標示用塗料はJIS K 5665による

種類	施工	適用	色	線(mm)	塗布厚さ(mm)
※3種1号	機械	粉体状	・白 ・	・150 ・100	・1.0 ・
・1種 G	手塗	液状			
・2種 G	流熱				

G 低揮発性有機溶剤型の路面標示用水性塗料

23 植栽及び屋上緑化工事

・植栽地の確認等 (23.1.3)

土壌の水素イオン濃度指数（pH）試験　・行う　・行わない
電気伝導度（EC）の試験　・行う　・行わない

・植栽基盤の整備 (23.2.2、4)

樹木の植栽基盤の整備
・適用する　・適用しない

種類	工法	有効土層の厚さ（cm）	整備範囲	土壌改良材
・高木	※A種 ・B種 ・C種 ・D種	樹高12m以上 (※100　・120　・150) 樹高7m以上～12m未満 (※80　・100) 樹高3m以上～7m未満 (※60　・80) 樹高3m未満 (※50　・60)	・樹冠部分 ・植栽部分 ・図示 ・	・適用する ・適用しない
※芝、地被類	※B種 ・	※20 ・	・植栽部分 ・図示 ・	・適用する ・適用しない

植栽基盤の排水設備　・設ける（※図示　・　　）　・設けない

・盛土用土 (23.2.3)

・現場発生土の良質土　・客土

・土壌改良材 (23.2.3)

土壌改良材の適用
・適用する　・適用しない

植栽及び指定数量等
・バーク堆肥 G
施工箇所　※植栽範囲　・図示
使用量　植栽基盤面積1m あたり　（2・50L　・　　）
・汚泥発酵肥料（下水汚泥コンポスト） G
施工箇所　※植栽範囲　・図示
使用量　植栽基盤面積1m あたり　（2・10L　・　　）
材料
「金属等を含む産業廃棄物に係る判定基準を定める省令」の別表第1の基準に適合する原料を
使用したもので、検害試験の調査の結果、害が認められないものとする

・樹木 (23.3.2)

樹種、寸法、株立数等　※図示　・

・支柱 (23.3.2、3)

支柱材　※ 丸太（間伐材）　・角材　・
防腐処理方法　※加圧式防腐処理丸太材　・
形式　・図示　・

・幹巻き用材料 (23.3.2)

材料
※ 幹巻き用テープ　・わら及びこも

・芝 (23.4.2、3)

種類　※ コウライシバ　・ノシバ　・
芝張りの工法
平地　※目地張り　・べた張り
法面　・目地張り　※べた張り

・吹付けは種 (23.4.2)

種子の種類	発芽率	種子の量（g/m　2）	備考
※洋芝類（採取後2年以内） ・	※発芽率80%以上 ・		

・地被類 (23.4.2)

種種	コンテナ径	単位面積当たりのコンテナ数	芽立数
・	・	・	・

・新植、芝等の枯保証、移植樹木の枯損処置 (23.3.4、6) (23.4.7)

新植樹木（芝張り、吹付けは種及び地被類を含む）の枯補償の期間
※引渡しの日から1年　・無し　・
移植樹木の枯損処置を行う期間
※引渡しの日から1年　・無し　・

・屋上緑化 G (23.5.2～4)

植栽基盤及び材料
・屋上緑化システム
土壌層の厚さ　・図示　・
排水層　・軽量骨材（層の厚さ　：　）　・板状成型品
植込み用土　※ 改良土　・人工軽量土
樹木、芝及び地被類の樹種並びに種類、寸法、株立数等　※ 図示　・
見切り材、舗装材、排水孔、マルチング材等　※ 図示　・

(品質・性能・試験方法)
別表による

・屋上緑化軽量システム
樹木、芝及び地被類の樹種並びに種類、寸法、株立数等　※ 図示　・
見切り材、舗装材、排水孔、マルチング材等　※ 図示　・
(品質・性能・試験方法)
別表による

工法
建築基準法に基づき定める風圧力の（・1　・1.15　・1.3）倍の風圧力に対応した工法
支柱　・設置方式　・図示　・　　）
かん水装置　・設置箇所　・　　）

24 その他

① 週休2日制工事

1 本工事は、建設工事おける週休２日制の試行対象工事である。

2 週休２日の考え方
（１）現場施工期間において、４週８休以上の現場閉所を行ったと認められること
（年末年始６日間と夏季休暇３日間は除く。）
（２）現場施工期間内には、工事着手日から工事完成日までの期間のうち工場製作のみの期間、工事全体の一時中止期間、受注者の責によらず現場作業を余儀なくされる期間などは含まない。
（３）４週８休以上とは、対象期間内の現場閉所日数の割合（以下「現場閉所率」という。）が28.5%（８日/28 日）以上の水準に達する状態をいう。
なお、降雨、降雪等による予定外の現場閉所についても、現場閉所日数に含めるものとする。
（４）現場閉所日数とは、巡回パトロールや保守点検等、現場管理上必要な作業を行う場合を除き、現場事務所での事務作業を含めて１日を通して現場や現場事務所が閉所された状態をいう。
（５）現場閉所による週休２日の対象外とする期間
無
（６）受注者の責によらない現場閉所
工事契約後、週休２日対象期間としていた期間において、受注者の責によらず現場作業を余儀なくされる期間が生じる場合は、受発注者間で協議して現場閉所による週休２日の対象外とする作業と期間を決定する。なお、変更契約時の設計図書に対象外とする作業と期間を明示する。
（７）やむを得ない現場閉所
やむを得ず現場閉所による週休２日の対象外とする期間を設定する場合は、必要最小限の期間とするものとする。また、現場閉所による週休２日対象外期間においては、技術者及び技能労働者が交替しながら個別に週休２日に取り組めるよう、休日確保に努めるものとする。

3 総合工事工程表の作成
受注者は、発注時の設計図書や発注者から明示される事項を踏まえ、総合工程表を作成する。
総合工事工程表を作成するに当たっては、当該工事の規模及び難易度、地域の実情、自然条件、工事内容、施工条件等ののほか、建設工事に従事する者の週休２日の確保等、下記の条件を適切に考慮する。
（１）建設工事に従事する者の休日（週休２日に加え、祝日、年末年始及び夏季休暇）の確保
（２）建設業者が施工に先立って行う労務・資機材の調達、調査・測量、現場事務所の設置等の「施工準備期間」
（３）施工終了後の自主検査、後片付け、清掃等の「後片付け期間」
（４）降雨日、降雪・出水期等の作業不能日数

4 工事工程の共有
（１）試行工事において、受発注者間で工事工程のクリティカルパスを共有し、工程に影響する事項がある場合には、その事項の処理対応者を明確にするものとする。
（２）円滑な協議を行うため、施工当初において工事工程（特にクリティカルパス）と関連する案件の処理期限（誰がいつまでに処理し、どの作業と関連するのか）について、受発注者で共有するものとする。
（３）工事工程の共有に当たっては、必要に応じて下請け業者（専門工事業者等の技術者等）を含めるなど、共有する工程が現場実態にあったものとなるよう配慮するものとする。
（４）工程に変更が生じた場合には、その要因と変更後の工事工程について受発注者間で共有すること。また、工程の変更理由が受注者の責によらない場合は、適切に工期の変更を行うものとする。

5 現場閉所の達成状況及び精査
現場閉所の達成状況が４週８休に満たない場合は、該負代金額のうち、建築・設備工事については労務費、土木工事については各諸経費の補正分を減額して該負代金額の変更を行うものとする。
（労務費及び各諸経費の補正分は入札説明書等による。）

工事名称	令和５年度第02第西管理事務所等効区情報強化改修工事			工事年度	令和６年度
工事場所	東京都新宿区内藤町11			図面名称	特記仕様書７
発注機関	環境省　新宿御苑管理事務所			縮　尺	N. S.
公園名称	新宿御苑			図面番号	A-08
検　印	管理建築士	設　計	新　図	設計者	名　称：宇建築設計事務所一級建築士事務所
					資格者氏名：岡本　功子
					登録番号：一級建築士　356094号
					所在地：神奈川県川崎市高津区久末1778-1-420

工事区分表

適用	項目	建築	電気	空気調和	衛生	昇降機	別途			備考
●	直接仮設	○								
●	関係官公署への申請手続	○	○	○	○					
●	関係官公署の各種負担金	○					○			
●	本設受電後引渡までの電気使用料金	○								基本料金を含む
●	本設水道、下水、ガスの引渡までの使用料金	○								
▪	コンクリート躯体の水槽類	○								
▪	コンクリート躯体の蓄熱槽	○								断熱工事を含む
▪	同上の連通管及び槽内通気管	○								
▪	同上の槽外通気管	○								
▪	同上のマンホール及び蓋	○								
▪	同上の点検口タラップ	○								
▪	同上の槽内防水及び清掃	○								
▪	同上の設備		○	○	○					
▪	同上の水中ポンプ引上用ガイドパイプ				○					
▪	煙突の構造及び断熱	○								
▪	煙突の排出口及び配水管	○								
▪	煙突の煙導取合部の開口及び取付金物	○								
▪	煙突迄の煙導		○	○	○					
▪	鉄筋コンクリート造の 梁・壁・床のスリーブ及び箱入	○	○	○	○					
▪	同上の補強	○								
▪	同上の穴埋	○	○	○	○					
▪	鉄骨鉄筋コンクリート造の梁貫通スリーブ	○								
▪	同上の補強	○								
▪	同上の穴埋	○	○	○	○					
▪	鉄骨造の梁貫通スリーブ	○								
▪	同上の補強	○								
◯	同上の穴埋（区画貫通部）	○	○	○	○					
◯	外壁貫通部の防水スリーブ	○	○	○	○					
◯	同上の配管後のシーリング	○	○	○	○					
●	設備機器設置用のコンクリート基礎	○								
●	設備機器設置用のアンカ用孔開及び箱入		○	○	○					
●	設備機器設置用のアンカ及び埋戻		○	○	○					
●	設備機器設置用の鋼製架台		○	○	○					
●	設備機器設置用のコンクリート基礎の仕上	○								
▪	屋外へのコンクリート配管立上	○								
▪	同上の配管後開口部ふさぎ		○	○	○					
▪	同上の配管廻のシーリング		○	○	○					
▪	雨水排水の縦桶及び最寄会所への接続	○			○					
▪	雨水排水の会所桝及び屋外排水管	○			○					
▪	雨水排水の会所桝の蓋	○			○					
◯	汚水排水の会所桝及び蓋				○					
◯	化粧蓋の場合の化粧仕上	○								
◯	機器搬入用仮設開口及び仕舞	○								
▪	同上の機器搬入用フック及びホイストビーム	○								
◯	配管・配線用のピット及びトレンチ	○								
◯	同上の縁金物及び蓋	○								
◯	同上の内部仕上	○								
▪	電気室・機械室等の床上コンクリート	○								
▪	発電機室のオイルタンク廻の防油堤	○								
▪	同上の廃油ピット	○								
▪	発電機室のオイルタンク及び架台		○							
▪	同上の給油口		○							
▪	同上の連絡用インターホン及び油面計		○							
▪	発電機室の減圧水槽廻の防水堤	○								
▪	同上の排水	○								
▪	同上の減圧水槽及び架台		○							
▪	CB・ALC版の壁、 鋼板製型枠床の設備機器取付用穴開及び補強	○								
▪	同上の穴埋	○								
▪	設備機器用の壁材の穴開 （石・タイル等の場合）	○								
◯	設備機器用の壁材の穴開 （ボード等の場合）	○								
▪	設備機器用の壁材の穴開 （鋼板パネル・ガラス等の場合）	○								
◯	パーティション組込ボックス及び配管	○								
◯	同上の設備機器取付用補強	○								
◯	同上の配線及び機器取付		○	○	○					
▪	外壁ガラリの取付	○								ベントキャップは除く

適用	項目	建築	電気	空気調和	衛生	昇降機	別途			備考
▪	同上のダクト接続用金物	○								
▪	同上のダクト及び接続			○						
▪	建具ガラリの取付	○								
▪	同上のダクト接続用金物	○								
▪	同上のダクト及び接続			○						
▪	セルラーダクトの取付	○								
▪	ヘッダーダクトの取付		○							
▪	同上のマーカー等の取付		○							
▪	同上の耐火処理	○								
◯	アクセスフロアの穴開け加工	○								ＯＡフロアを含む
◯	アクセスフロア下部の防塵塗装	○								
▪	アクセスフロアの設備機器用架台		○	○	○					
◯	一般天井の設備機器取付用穴開	○		○	○					
◯	設備機器用取付用の壁及び天井の補強	○								
◯	天井及び床の点検口	○								
▪	シャフト等の点検口	○								
▪	システム天井の下地及び天井材	○								Ｔ・Ｍバー含む
▪	システム天井の照明器具・感知器・スピーカ		○							
▪	システム天井の空調用吹出口			○						
▪	システム天井のスプリンクラーヘッド				○					
▪	システム天井の鋼板製設置用プレート 及び穴開加工		○							現地穴開加工は各工事
▪	サイン類の本体（非電照式）	○								誘導標識等を含む
▪	サイン類の本体（電照式）	○								照明器具を含む
▪	同上用電源		○							
▪	湯沸室の流し台及びコンロ台	○								トラップは流し台に含む
▪	同上への配管及び機器取付				○					
▪	湯沸室のレンジフード（ミニキッチン含む）	○								
▪	同上のダクト及び接続			○						
▪	便所等の化粧鏡（オーダー品）	○								
◯	便所等の化粧鏡（既製品）				○					
◯	便所等の面台	○								
◯	便所等の照明用ボックス	○								
◯	同上の照明器具		○							
◯	身障者便所の鏡	○								
▪	システム便所（ユニット）の設置	○								
▪	エレベーターの各階出入口の開口及び補強	○								
▪	エレベーターの各階押釦等の穴開	○								
▪	エレベーター機械室の床穴開及び補強	○								
▪	同上の穴埋					○				
▪	エレベーター機械室の搬入用開口及び同復旧	○								
▪	エレベーター機械室の 搬入用吊りフック及びビーム	○								
▪	エレベーターの電源供給		○							
▪	エレベーター昇降路内の 鋼製ファスナーブレート（Ｓ造）	○								
▪	エレベーター昇降路内の 鋼製の中間ビーム（Ｓ造）	○								
▪	エレベーター昇降路内の 鋼製の中間ビーム（ＲＣ・ＳＲＣ造）					○				
▪	エレベーター昇降路内の配線					○				
▪	エレベーター昇降路外の配管		○							
▪	エレベーター昇降路外の配線					○				
▪	エレベーター用インターホン					○				
▪	エレベーター機械室の換気口	○								
▪	エレベーター昇降路内の点検用タラップ	○								
▪	エレベーター昇降路内の点検用差込		○							
▪	エレベーター空調用ドレン配管			○						
▪	エスカレーターピットの築造	○								
▪	エスカレーター搬入用吊フック	○								
▪	エスカレーター外装仕上	○								
▪	エスカレーターの電源供給		○							
▪	エスカレーターの下部照明		○							
▪	エスカレーター用監視盤					○				中央監視盤に組込
▪	エスカレーターから監視盤への配管配線		○							
▪	電動シャッタ及びドア等の 制御盤・操作面並びに配線	○								
▪	電動シャッタ及びドア等の 操作面用配管		○							
▪	同上の1次側電源供給		○							
◯	空調自動制御用機器及び現場盤			○						
◯	同上用電源盤		○							

適用	項目	建築	電気	空気調和	衛生	昇降機	別途			備考
◯	同上の2次側電源工事			○						
◯	空調、衛生設備用一般電動機及び据付			○	○					
◯	同上制御盤と電動機接続までの電気工事		○							ＶＶＶＦ制御の場合は 空調、衛生工事
▪	冷凍機、ボイラー等の操作盤及び据付			○	○					
▪	同上の2次側電気工事			○	○					
◯	空気熱源ヒートポンプパッケージの 電源供給		○							
◯	同上の2次側電気工事			○						室外機から室内機の配管配線
▪	液面警報盤		○							
▪	水槽用液面制御スイッチ				○					加圧給水ポンプ盤
▪	同上の配管配線				○					同上2次側配管配線
▪	コンクリート製水槽等に取付る 電極・フロートスイッチ及び固体		○							
▪	鋼板製及び樹脂製等のタンクに取付る 電極等の取付用金物及び固体				○					
▪	防火扉等の閉鎖装置		○							
▪	同上の防災盤までの制御監視用配管配線		○							
▪	防火防炎シャッタ等の閉鎖装置	○								
▪	同上の防災盤までの制御監視用配管配線		○							
▪	排煙口・給気口・ダンパー等の制御機構	○								自然排煙のみ建築
▪	排煙口・給気口及び手動開放装置	○								自然排煙のみ建築
▪	同上の防災盤までの制御監視用配管配線		○				○			
▪	防火扉・防火防炎シャッタ・排煙口・給気口 ・ダンパー等用の煙感知器及び配管配線		○							
▪	屋内消火栓等の本体				○					
▪	同上の開口部の構造補強	○								
▪	同上の起動押釦・位置表示灯		○							
▪	同上の配管配線		○							
▪	スプリンクラーポンプ・ 消火栓ポンプ等の制御盤				○					呼水槽の警報（流減）を含む
▪	同上のアラーム弁及び配管配線				○					
▪	同上の消火水槽の警報用電極		○							
▪	同上の配管配線		○							
▪	同上の防災盤等への配管配線		○							
▪	電気室等のＣＯ2消火設備				○					
▪	ＣＯ2消火装置の操作盤				○					
▪	同上の2次側配管配線及び機器の取付				○					
▪	給気ファン等の電源インターロック		○							
▪	同上の防災盤等への配管配線		○							
▪	ピストンダンパー用ＣＯ2ガス配管				○					
▪	ピストンダンパー本体			○						
▪	同上の操作盤及び据付				○					
▪	同上の2次側配管配線				○					
▪	消火器ボックス（埋込型）	○								
▪	消火器ボックス（露出型）	○								
▪	消火器ボックス（消火栓箱に組込）				○					
▪	消火器（ＡＢＣ－10型）	○								
▪	消火器（大型）						○			
●	防犯監視盤						○			
●	防犯監視用の配管						○			
●	同上の配線及び端末機器取付						○			調整、協力すること
●	同上の建具加工	○								
●	同上に取付機器又は組込機器						○			調整、協力すること
▪	防犯監視設備から中央監視設備間の 配管配線		○							

凡例

●：令和５年度新宿御苑管理事務所等防災機能強化改修工事（1期工事）及び令和5年度新宿御苑管理事務所等長寿命化改修工事（2期工事）に該当

◯：令和5年度新宿御苑管理事務所等長寿命化改修工事（2期工事）に該当

工事名称	令和５年度新宿御苑管理事務所等防災機能強化改修工事		工事年度	令和５年度	
工事場所	東京都新宿区内藤町11		図面名称	工事区分	
発注機関	環境省　新宿御苑管理事務所		縮　尺	N.S.	
公園名称	新宿御苑		図面番号	A-09	
検　印	管理建築士	設　計	製　図	設計者 名　称	半建築設計事務所一級建築士事務所
				資格者氏名	岡本　治子
				登録番号	一級建築士　356094号
				所在地	神奈川県川崎市高津区久末1778-1-420

改修工事項目一覧表（第一回実施設計時の工事範囲はグレー部）

◎：主体的に工事を行なう区分、○：関連工事のある区分

番号	項目	概要	対象		工事区分			
			管理事務所	倉庫兼作業所	建築	電気	空調	衛生
1	断熱改修、内装木質化	準耐火建築物の性能を確保しつつ木材を利用するため、腰壁（1FL+1200以下）や照明ボックス、内部建具、窓枠等に木材を利用します。照明ボックス、窓枠を木製とすることで目につきやすくワークプレイスに柔らかな印象を与えます。また、断熱性能がとても優れている木材を腰壁に張ることで居室の温熱環境を向上させます。また、事務室をOAフロア化して執務空間機能向上に努めます。	事務室、会議室、所長室	―	◎	○		○
2	太陽光発電	エコテラスの太陽光発電ガラスのクリーニング、接続箱の改修。	エコテラス上部	―	◎	○		
3	内装の木質化	壁の断熱強化のため撤去新設する窓の付枠を木製として復旧します。	事務室、所長室、会議室	―	◎			
4	外構植樹	レンガブロック撤去の後低木植樹を行います。	南側前面	―	◎			
5	設備基礎新設・改修（拡大）、冷媒管工事	エアコンの更新に伴い室外機の更新を行うため、室外機のサイズ及び数が変更するためできる限り既存基礎を生かして最小限の基礎増設及び改修とします。	北側及び東側前面	―	◎		◎	
6	屋根改修	屋根老朽化により雨漏り等が発生しているため、全面改修し雨漏りを防止します。（雪止め設置）	屋根全面	屋根全面	◎			
7	棟包み、谷樋等金属屋根改修	屋根改修に伴い棟、谷樋、下り棟等金属屋根部分の改修を行います。	屋根全面	屋根全面	◎			
8	雨樋改修	部分的に破損している雨樋を補修及び部分撤去・新設します。	屋根南面	―	◎			○
9	太陽光発電パネル改修及び増設	発電効率が悪く建材一体型の太陽光発電を再利用することは不可能なため、新たに建材一体型の太陽光発電パネルを計画します。パネルの下葺材をStPLを0.5→0.35mmとして軽量化し建物の構造的負担を現在と同等程度に抑えます。	屋根全面	南側屋根	◎	○		
10	トップライト防水改修	トップライト周りのシールを全て打ち替えします。	トップライト部	―	◎			
11	鉄部塗装	換気棟、トップライト棟カバー等の鉄部の錆取りとフッ素樹脂塗装を行います。	換気棟、トップライト部	―	◎			
12	外壁サイディング部分塗装	老朽化した外壁サイディング（倉庫はALC）部分を白色塗装を行います。（ベンドキャプとも）	外壁腰上全面	外壁全面	◎	○	○	
13	キュービクル改造	新たに設置する太陽光発電パネル用パワコン・蓄電池からの電気を建物に共有するためにキュービクルの改造を行います。	機械置場	―	○	◎	○	
14	太陽光発電	太陽の光を電気エネルギーに変換します。管理事務所棟約25kw、倉庫兼作業場13kwの発電が可能なパネルを設置し、10kwのパワコンを2台、10kwの蓄電池を設置します。既設AGC用に4.4kWのパワコンを新設し、特定負荷用に分電盤を新設、接続します。非常時には電気自動車リーフも接続できるよう計画します。	機械置場	南側屋根	○	◎		
15	エアコン改修	管理事務所棟全室のエアコンを改修します。	管理事務所棟全室	―	○	○	◎	○
16	構造検討書	屋根葺替および太陽光発電パネル設置に伴う本体構造躯体および下地鉄骨等の構造安全性の確認を行います。なお，検討方針としては，原設計時の構造計算書における固定・積載荷重と，改修後の固定・積載荷重の荷重比較を行い，安全性の確認を行うこととします。	1棟	1棟	◎			
17	コンセント設備	OAフロアにコンセントを新設します。特定負荷回路を新設分電盤に接続します。また壁面改修に伴い、既設配線器具の取り外し取付を行います。					◎	
18	機械置場フェンス改造工事	LEAF発電時に使用するV2Xはフェンス内にあるとLEAFとの接続ができないため、フェンスの一部を盛替えを行います。			◎		○	
19	客用洗面所、客用便所改修	客用洗面所、客用便所を多目的トイレに改修します。	客用洗面所、客用便所		◎	○		◎

グレー部分は本工事を示す

工事名称	令和５年度新宿御苑管理事務所等防災機能強化改修工事	工事年度	令和５年度
工事場所	東京都新宿区内藤町11	図面名称	工事概要
発注機関	環境省　新宿御苑管理事務所	縮　尺	N.S.
公園名称	新宿御苑	図面番号	A-10
検　印	管理建築士	設　計	製　図
設計者	名　称	半建築設計事務所一級建築士事務所	
	資格者氏名	岡本　治子	
	登録番号	一級建築士　356094号	
	所在地	神奈川県川崎市高津区久末1779-1-420	

管理事務所

外部仕上表

屋根	【既存】母屋C－100×50×20×2.3a 600＋【新規】耐火野地板t=18＋【新規】アスファルトルーフィング22KG(端部1000m/m内八二重施工)＋【新規】コロニアルグラッサ同等品以上
外壁	【既存】胴縁C－100×50×20×2.3a 450＋【既存】防火サイディングt=19＋【新規】AEP
腰(巾木)	【既存】(基礎:花崗岩t=25本磨き(バンナー)(ラスシート下地) 【既存】腰:花崗岩t=25ジェットバーナー本磨き模様貼(圧着工法))
庇	(玄関ノミ)【既存】C－100×50×20×2.3a 600＋【新規】耐火野地板t=18＋【新規】アスファルト防水 【既存】正面幕板:ニチハアウティー製H=750×L=5100 【既存】化粧柱:FRP製φ250からφ300工場塗装品 【既存】軒裏:LG＋アルミスパンドレル(ジェラクロン焼付)
樋	【既存】横樋:既製塩化ビニル製(芯材カーボンシート)ホワイトV300x4000、 【既存】タテ樋:塩ビ製 100φ・150φ
犬走り	【新規既存】(基礎先端ヨリ1200m/m)玉砂利敷t＝50

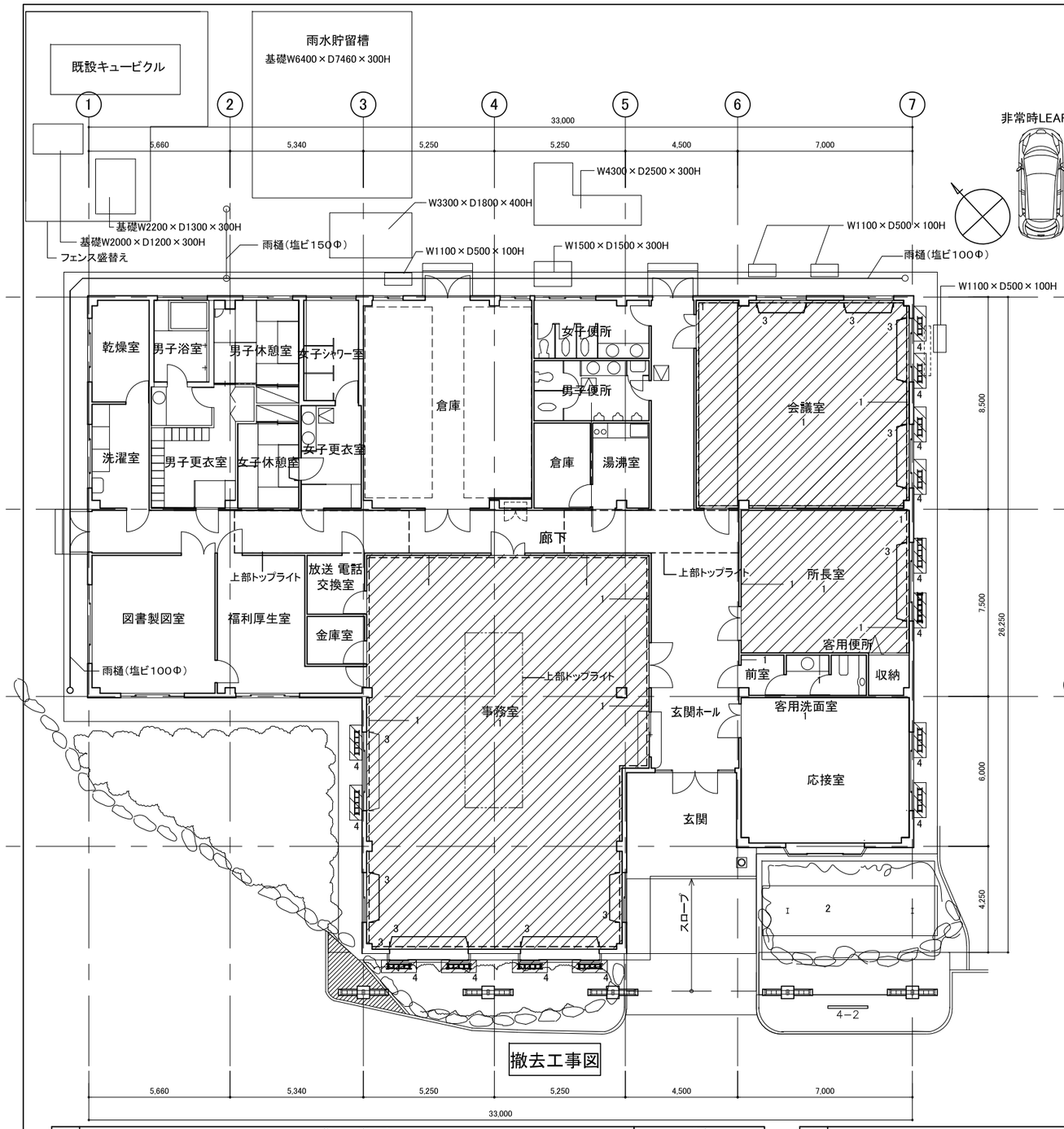
内部仕上げ表

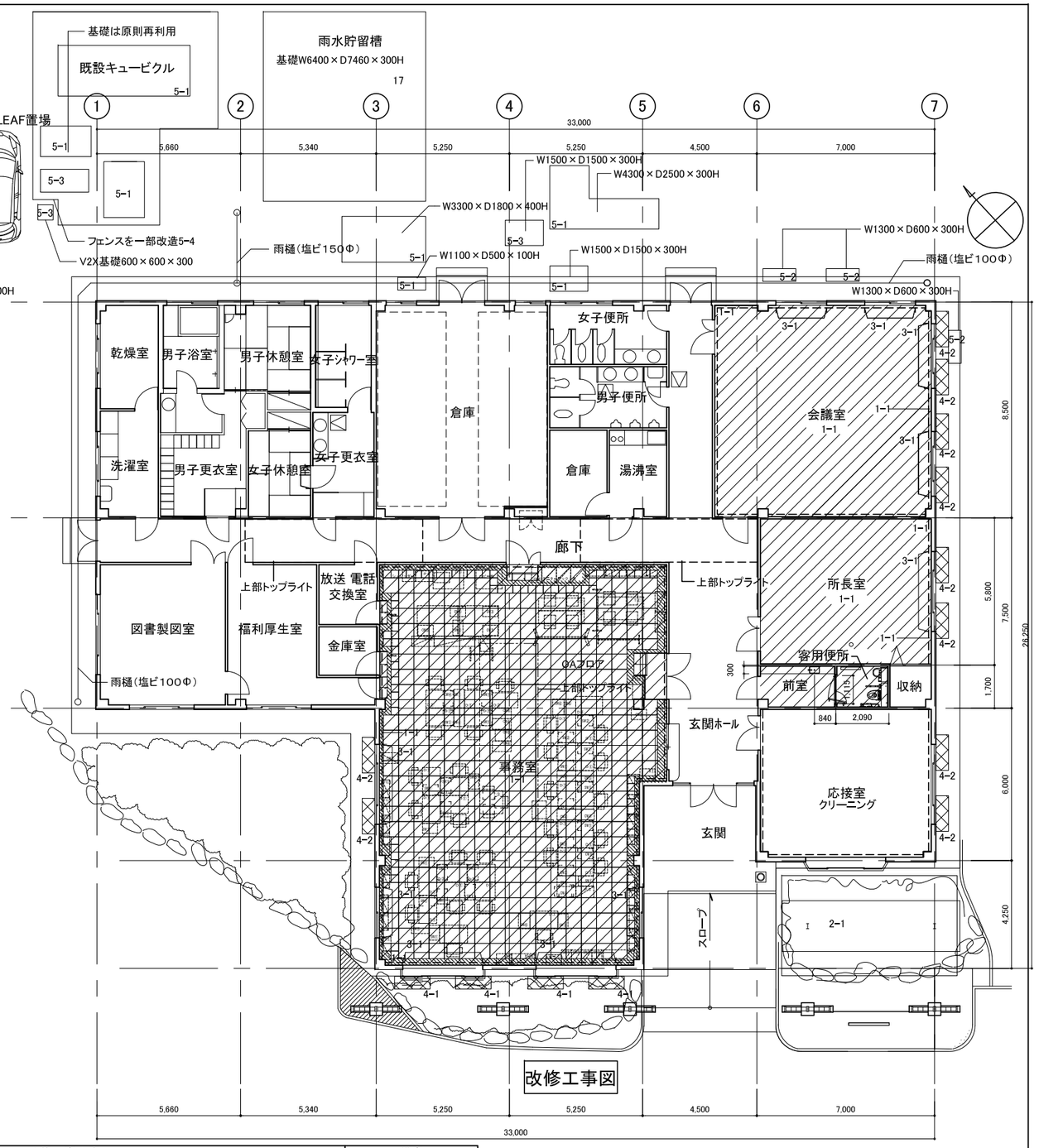
室名	床 仕上	床 H	巾木 仕上	巾木 H	腰 仕上	腰 H	壁 下地	壁 仕上	天井 仕上	天井 CH	天井 飾り縁	天井 カーテンボックス	天井 カーテンレール	備考
事務室(旧)	コンクリートコテ押エ＋プラスター下地長尺塩ビシートt=2.0	±0	タモ15×100 CL	100			LGS	プラスターボードt=12＋ケナフ壁紙	LGS＋プラスターボードt＝9＋岩綿吸音版t=9、一部不燃現材	2600		木製OP		受付カウンター・出窓甲板:ポストフォーム ブラインド:ヨコ型ブラインド
事務室(新)	OAフロア(ネットワークフロア40 床マット同等品)	±0	タモ15×100 CL	〃	タモ縦付けベニア t=5.5	1200	〃	プラスターボードt=12＋漆喰顆塗装	LGS＋プラスターボードt＝9＋岩綿吸音版t=9、一部不燃現材、照明BOX木製トラフ タモt=15	2600		〃		天井は空調更新部の現状復旧+照明BOX取付
会議室(旧)	タイルカーペット500角t=6.5	±0	タモ15×100 CL	100			LGS	プラスターボードt=12＋ビニールクロス	LGS＋プラスターボードt＝9＋岩綿吸音版t=9	2600		木製OP		ブラインド:ヨコ型ブラインド
会議室(新)	〃	〃	タモ15×100 CL	〃	タモ縦付けベニア t=5.5	1200	〃	プラスターボードt=12＋漆喰顆塗装	LGS＋プラスターボードt＝9＋岩綿吸音版t=9、一部不燃現材、照明BOX木製トラフ タモt=15	〃		〃		〃
福利厚生室	長尺塩ビシートt=2.0	±0	ソフト巾木(H=100)	100			LGS	プラスターボードt=12＋ビニールクロス	LGS＋プラスターボードt＝9＋岩綿吸音版t=9	2600		木製OP	ステンレスダブル	
図書・製図室	〃	〃	〃	〃			〃	〃	〃	〃		〃		ブラインド:ヨコ型ブラインド
金庫室	〃	〃	〃	〃			〃	〃	〃	〃				
放送電話交換室	〃	〃	〃	〃			〃	〃	〃	〃				
応接室(旧)	ｴﾝｸﾘｰﾄｺﾃ押エ＋SLﾌﾟﾗｽﾀｰ下地ﾌｪﾙﾄt=7＋ｳｰﾙﾀｸﾃｯﾄﾞｶｰﾍﾟｯﾄt=8(ｸﾘｯﾊﾟｰ工法)	±0	マホガニー材25×120 CL	120	マホガニー羽目板 CL	2000	LGS	プラスターボードt=12＋寒冷紗AEP	LGS＋プラスターボードt＝9＋寒冷紗AEP	2600/3300	マホガニーOSCL	木製OP		出窓甲板:ポストフォーム ※収納内部仕上材ハ応接室ニ準ズル
応接室(新)	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃		〃
所長室(旧)	ｴﾝｸﾘｰﾄｺﾃ押エ＋SLﾌﾟﾗｽﾀｰ下地ﾌｪﾙﾄt=7＋ｳｰﾙﾀｸﾃｯﾄﾞｶｰﾍﾟｯﾄt=8(ｸﾘｯﾊﾟｰ工法)	±0	マホガニー材25×120 CL	120	マホガニー羽目板25×120 CL	2000	LGS	プラスターボードt=12＋寒冷紗AEP	LGS＋プラスターボードt＝9＋寒冷紗AEP	2600/3300	マホガニーOSCL	木製OP	ステンレスダブル	
所長室(新)	ｴﾝｸﾘｰﾄｺﾃ押エ＋タイルカーペット(マラケシュレザー)t=9	〃	〃	〃	プラスターボードt=12＋漆喰顆塗装	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	
男子便所	モルタル金コテ・下地50角磁器貿タイル(圧着工法)	25			フレキシブルボードt=6下地150角磁器貿タイル(圧着工法)	1350	LGS	フレキシブルボードt=6VP	LGS＋ケイ酸カルシウム板t=6VP	2350				洗面カウンター:人造大理石t=15 D600×L1800 面台:人造大理石t=15 D110×L3350 化粧鏡:クリアミラーt=5(マット站)
女子便所	〃	〃			〃	〃	〃	〃	〃	〃				洗面カウンター:人造大理石t=15 D600×L2000 化粧鏡:クリアミラーt=5(マット站)
湯沸室	コンクリートコテ押エ＋プラスター下地長尺塩ビシートt=2.5	±0	ソフト巾木(H=100)	100			〃	〃	〃	2500				流シ台・吊棚:甲板:シンクステンレス, 建具:メラミン化粧,内部ステンレス(レンジフード付)
洗濯室	〃	〃	〃	〃			〃	〃	〃	2400				防水パン:ABS樹脂製950×700×80×3台 SK型洗面器ハ設備工事
乾燥室	〃	〃	〃	〃			〃	〃	〃	〃				
倉庫①	〃	〃	〃	〃			〃	〃	〃	2600				
倉庫②(旧)	コンクリートコテ押エ＋プラスター下地長尺塩ビシートt=2.5	±0	ソフト巾木(H=100)	100			LGS	フレキシブルボードt=6VP	LGS＋ケイ酸カルシウム板t=6VP	2500				
倉庫②(新)	コンクリートコテ押エ＋プラスター下地長尺塩ビシートt=2.5、ﾗｯｸ部はﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ500角t=6.5	〃	〃	〃			〃	〃	〃	2350/2500				可動ラック
男子更衣室(旧)	荒床組(コンパネt=12)下地防マットt=9(クッション付)	100	タモ15×100 CL	100			LGS	フレキシブルボードt=6VP	LGS＋ケイ酸カルシウム板t=6VP	2400				洗面カウンター:人造大理石t=15 D600×L2600 框:タモ 50×100 CL
男子更衣室(新)	〃	〃	〃	〃			〃	〃	〃	〃				
女子更衣室	荒床組(コンパネt=12)下地防マットt=9(クッション付)	100	タモ15×100 CL	100			LGS	フレキシブルボードt=6VP	LGS＋ケイ酸カルシウム板t=6VP	2400				洗面カウンター:人造大理石t=15 D600×L2600 框:タモ 50×100 CL
男子浴室(旧)	コンクリート補修ノ上アスファルト防水＋保護モルタル＋150角磁器貿タイル	±0					RC	コンクリート補修ノ上アスファルト防水＋保護モルタル＋150角磁器貿タイル	LGS＋アルミスパンドレル	2400～2500				
男子浴室(新)	〃	〃					LGS	〃	LGS＋バスパネル	〃				
男子洗面・脱衣(新)	荒床組(コンパネt=12)下地防マットt=9(クッション付)	100	タモ15×100 CL	100			LGS	フレキシブルボードt=6VP	LGS＋ケイ酸カルシウム板t=6VP	2400				洗面カウンター:人造大理石t=15 D600×L1545 框:タモ 50×100 CL
客用洗面室(旧)	コンクリートコテ押エ＋SLプラスター＋花崗岩t=18,ジェットバーナ	25	花崗岩25×120本磨き	120			LGS	プラスターボードt=12＋アンティコスタッコ	LGS＋プラスターボードt＝9AEP	2350				洗面カウンター:人造大理石t=15 D600×L1800 吊棚・フロアーキャビネット:マホガニー化粧 CL 化粧鏡:クリアミラーt=5(マット站)
前室	既存利用	25	花崗岩25×120本磨き	120			LGS	プラスターボードt=12＋アンティコスタッコ	LGS＋プラスターボードt＝9AEP	2350				
客用便所(旧)	コンクリートコテ押エ＋SLプラスター＋花崗岩t=18,ジェットバーナ	25	花崗岩25×120本磨き	120			LGS	プラスターボードt=12＋アンティコスタッコ	LGS＋プラスターボードt＝9AEP	2350				
客用便所(新)	既存利用	〃	既存利用	〃			〃	プラスターボードt=12＋アンティコスタッコ	LGS＋GB-S t=9.5 AEP	〃				衛生陶器、スライド扉、手摺、鏡
玄関ホール・廊下(旧)	コンクリートコテ押エ＋SLプラスター＋花崗岩t=18,ジェットバーナ	±0	花崗岩25×120本磨き	120			LGS	プラスターボードt=12＋9＋アンティコスタッコ	LGS＋プラスターボードt＝9AEP	2600/3300	スプレスAEP			消火器・収納ボックス:置型×3台(建築工事)
玄関ホール・廊下(新)	〃	〃	〃	〃			〃	プラスターボードt=12＋アンティコスタッコ、上部プラスターボード二重張 t=12＋9EP	〃	2600/4500～5800				上部トップライトおよびアルミルーバー
玄関・アプローチ	花崗岩t=30ジェットバーナ		花崗岩t=20(圧着工法)											
男子休憩室(新)	タタミ敷	100	タタミ寄せ スプルス12×40	40			LGS	プラスターボードt=12＋ケナフ壁紙	LGS＋プラスターボードt＝9＋岩綿吸音版t=9	2400				
女子休憩室(新)	タタミ敷	100	タタミ寄せ スプルス12×40	40			LGS	プラスターボードt=12＋ケナフ壁紙	LGS＋プラスターボードt＝9＋岩綿吸音版t=9	2400				

工事名称	令和５年度新宿御苑管理事務所等防災機能強化改修工事	工事年度	令和５年度
工事場所	東京都新宿区内藤町11	図面名称	仕上表
発注機関	環境省 新宿御苑管理事務所	縮 尺	N.S.
公園名称	新宿御苑	図面番号	A-11

検 印	管理建築士	設 計	製 図

設計者		
	名 称	宇建築設計事務所一級建築士事務所
	資格者氏名	岡本 治子
	登録番号	一級建築士 356094号
	所在地	神奈川県川崎市高津区久末1778-1-420

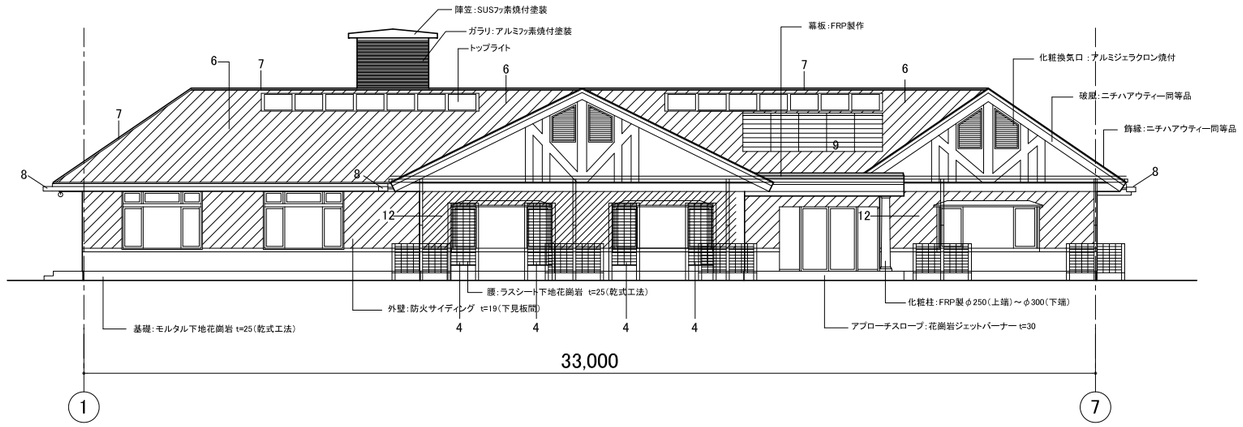


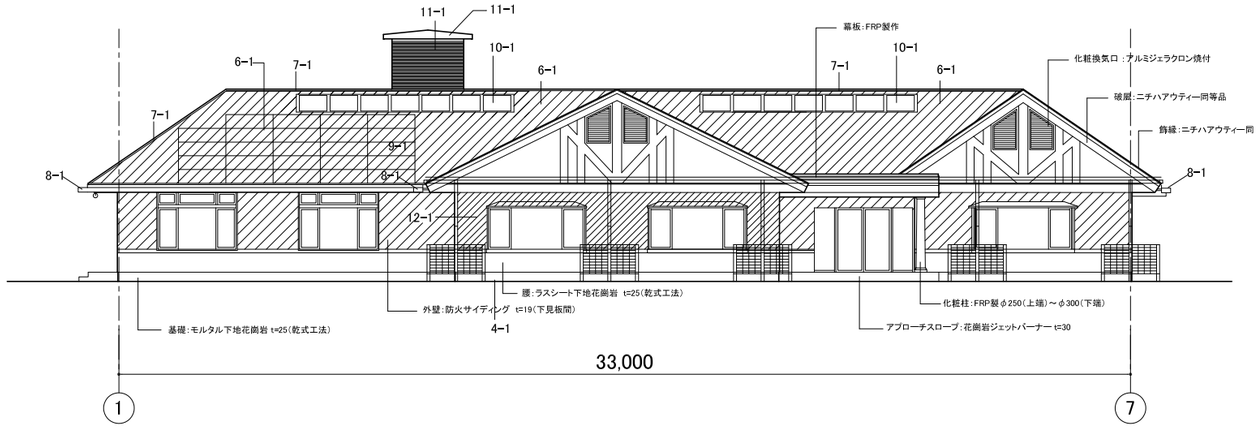


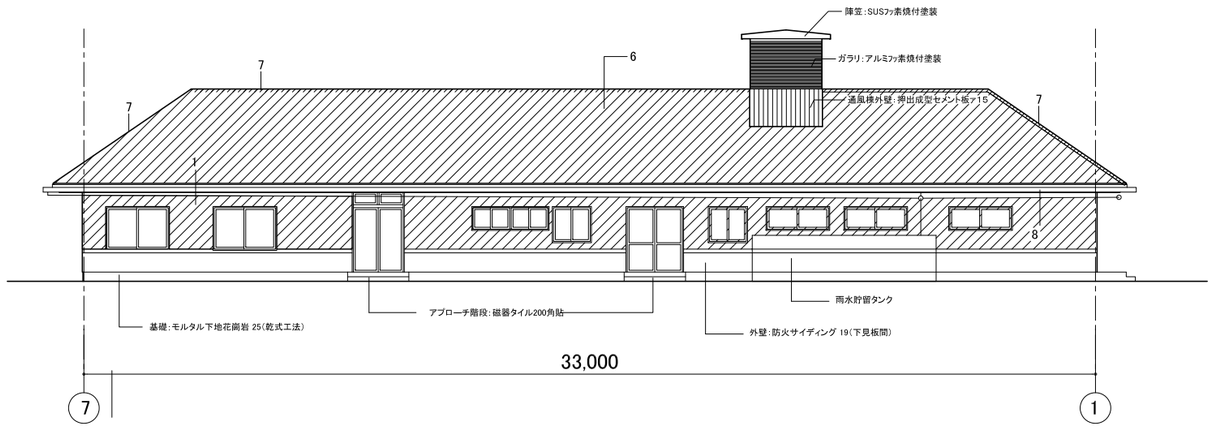
番号	撤去工事内容	備考
1	外壁室内側プラスターボード、羽目板、巾木、見切縁撤去、腰躯体分GW撤去(事務室、会議室は室内壁クロス全て撤去)事務室、会議室床仕上を全て撤去、所長室、応接室カーペットを全て撤去	
2	太陽光集熱パイプ撤去	
3	付額縁撤去	
4	多孔質セラミックレンガブロック撤去(下地鉄骨とも)	
8	既設雨樋の一部撤去	
19	客用洗面所、客用便所を撤去	

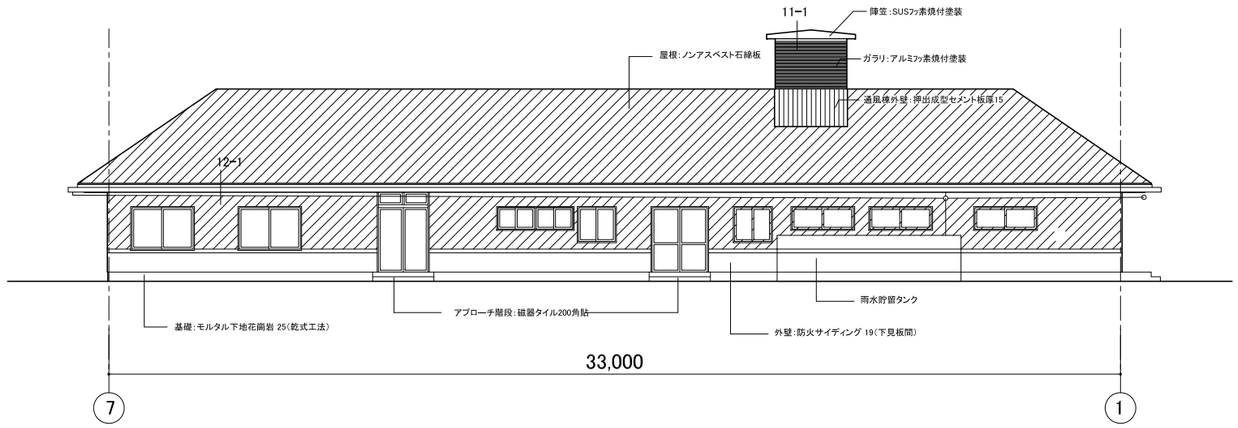
番号	改修工事内容	備考
1-1	外壁内に断熱材t=100充填のうえプラスターボードア12.5貼り 壁クロス仕上、羽目板、巾木、見切縁復旧、床仕上復旧	
3-1	サッシ額縁新設(木材t=25、自然色木材保護塗装)	
4-1	基礎撤去後低木植栽	
4-2	基礎撤去後整地床付け	
5-1	基礎サイズアップ(5-2)、基礎新設(5-3)冷媒配管工事(設備工事)、巾木復旧	
5-4	機械置場フェンス改造	
19	客用洗面所、客用便所を多目的トイレに改修	

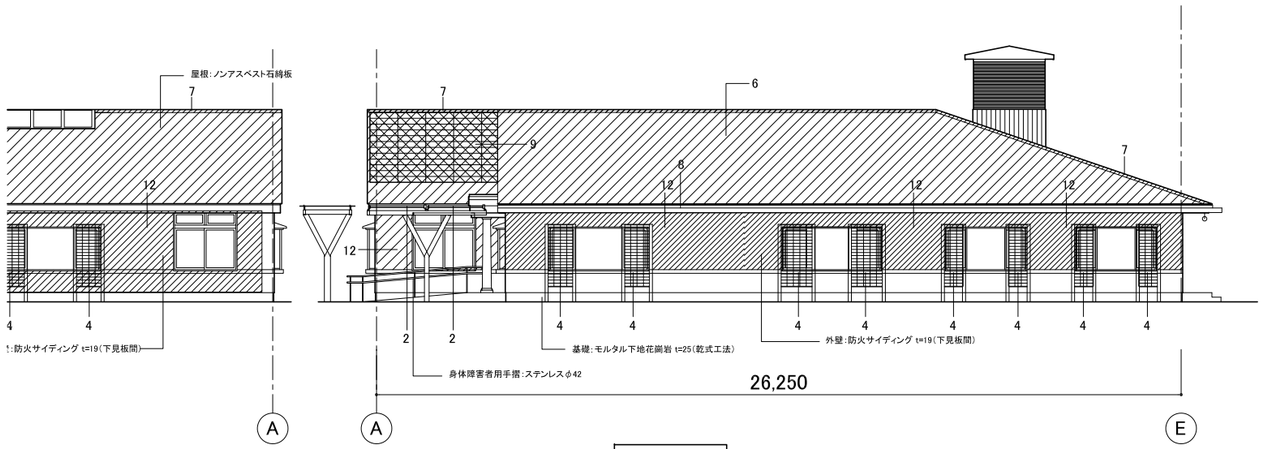
工事名称	令和5年度新宿御苑管理事務所等防災機能強化改修工事			工事年度	令和５年度
工事場所	東京都新宿区内藤町11			図面名称	１階平面図　撤去・改修図
発注機関	環境省　新宿御苑管理事務所			縮　尺	S=1:200
公園名称	新宿御苑			図面番号	A-12
検　印	管理建築士	設　計	製　図	設計者	名　称：宇建築設計事務所一級建築士事務所
					資格者氏名：岡本　治子
					登録番号：一級建築士　356094号
					所在地：神奈川県川崎市高津区久末1778-1-420



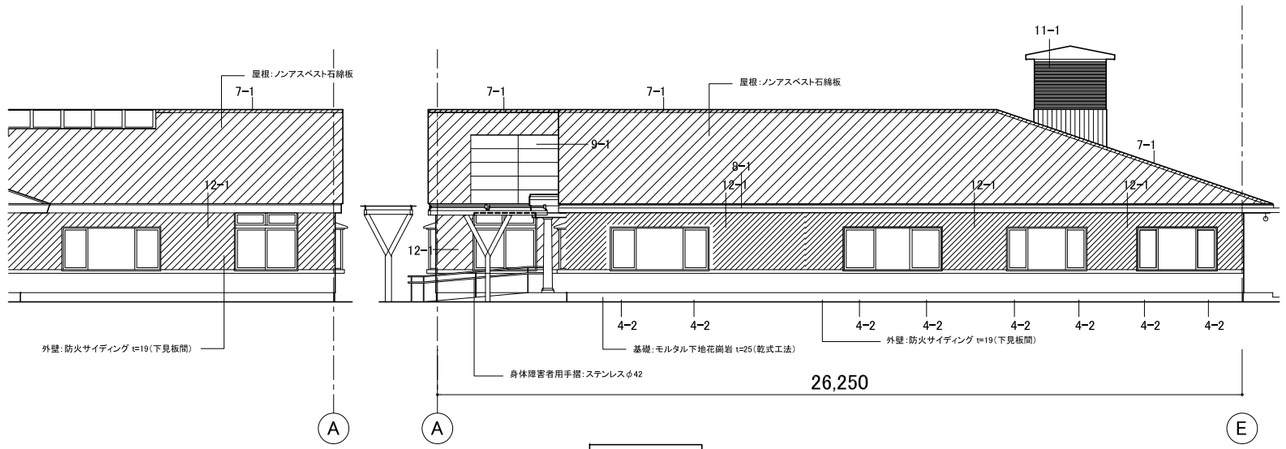








撤去工事図

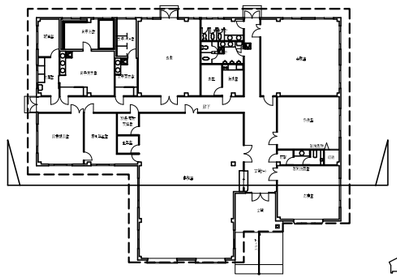


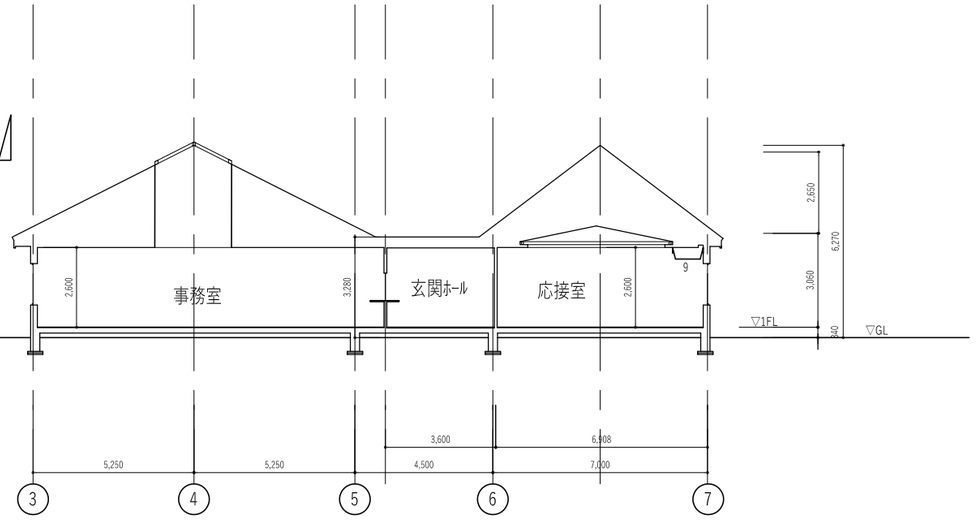
改修工事図

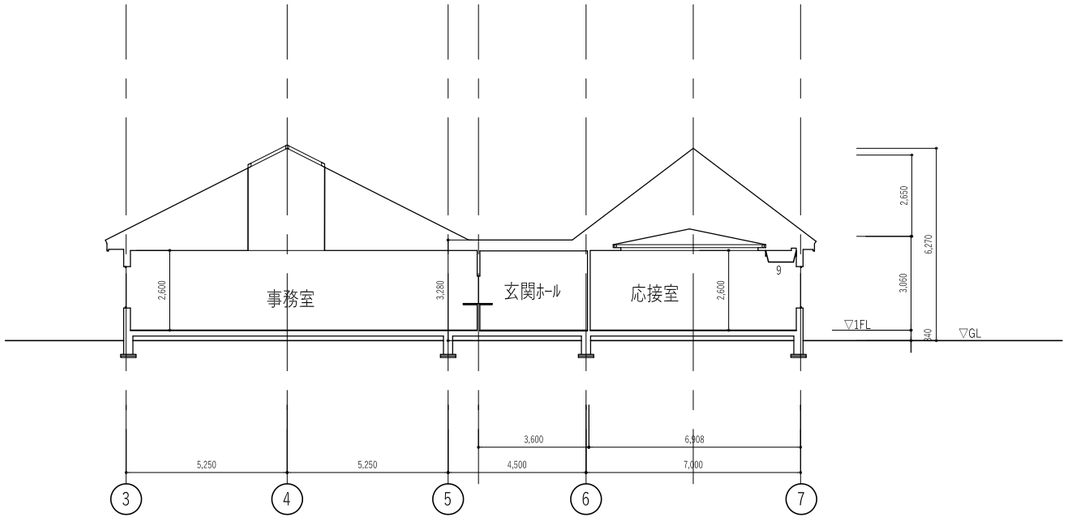
番号	撤去工事内容	備考
4	多孔質セラミックレンガブロック撤去(下地鉄骨とも)	
6	石綿ノンアスベスト板、アスファルトルーフィング、野地板撤去	
7	アスファルトルーフィング、棟包み鉄板t=0.6mm撤去	
8	雨樋老朽化部分取替	
9	建材一体型ソーラーパネル、金属屋根、アスファルトルーフィング、野地板撤去	
12	サンダーがけ	

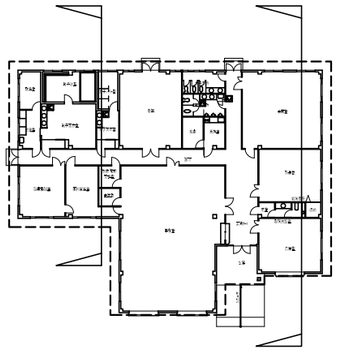
番号	改修工事内容	備考
2-1	太陽光発電パネル及び太陽光発電パネル固定金物(ｽﾚｰﾄ･板金金具 ﾌﾞﾁﾙASSY同等品以上)敷設	
3-1	サッシ額縁新設(木集成材t=25、自然色木材保護塗装)	
4-1	基礎撤去後低木植栽	
4-2	基礎撤去後整地床付け	
5-1	冷媒配管工事(設備工事)、巾木復旧	
6-1	石綿ノンアスベスト板、アスファルトルーフィング、野地板新設	
7-1	アスファルトルーフィング、棟包み鉄板t=0.6mm新設	
8-1	雨樋老朽化部分取替	
9-1	建材一体型ソーラーパネル、金属屋根、アスファルトルーフィング、野地板新設	
10-1	トップライト周りシール打直し、枠既存同色フッ素樹脂塗装	
11-1	同色フッ素塗装	
12-1	同色AEP塗装	

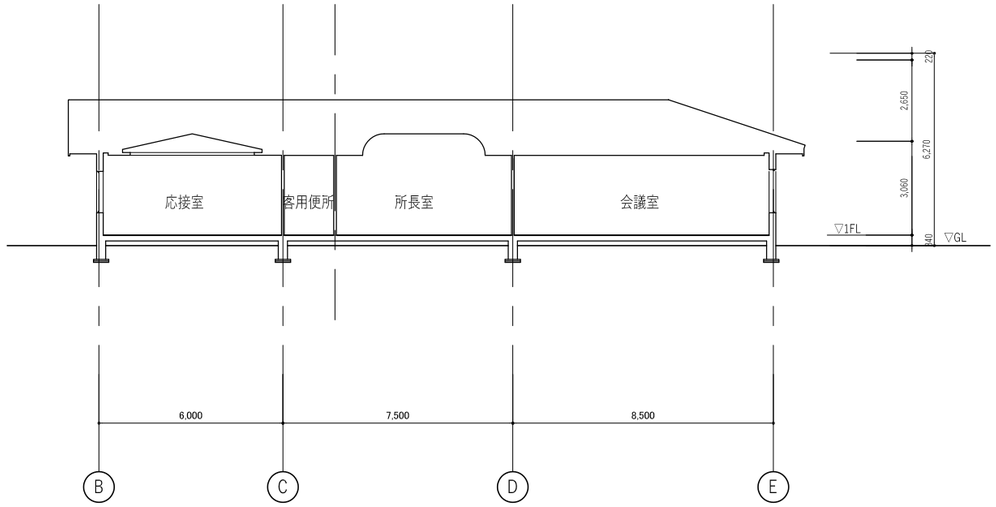
工事名称	令和5年度新宿御苑管理事務所等長寿命化改修工事			工事年度		令和５年度
工事場所	東京都新宿区内藤町11			図面名称		立面図 撤去・改修図 (管理事務所)
発注機関	環境省　新宿御苑管理事務所			縮　尺		S=1:200
公園名称	新宿御苑			図面番号		A-13
検　印	管理建築士	設　計	製　図	設計者	名　称	宇建築設計事務所一級建築士事務所
					資格者氏名	岡本　治子
					登録番号	一級建築士　356094号
					所在地	神奈川県川崎市高津区久末1778-1-420



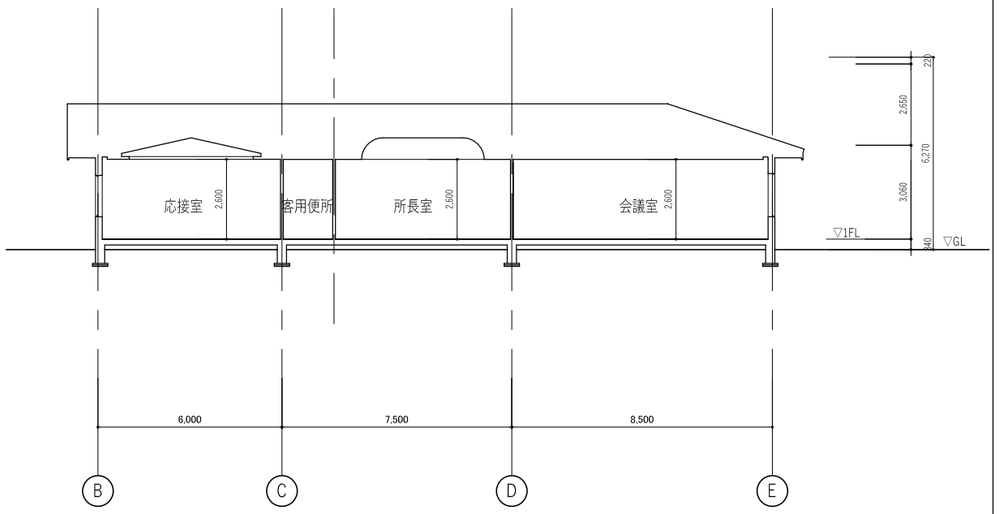








撤去工事図

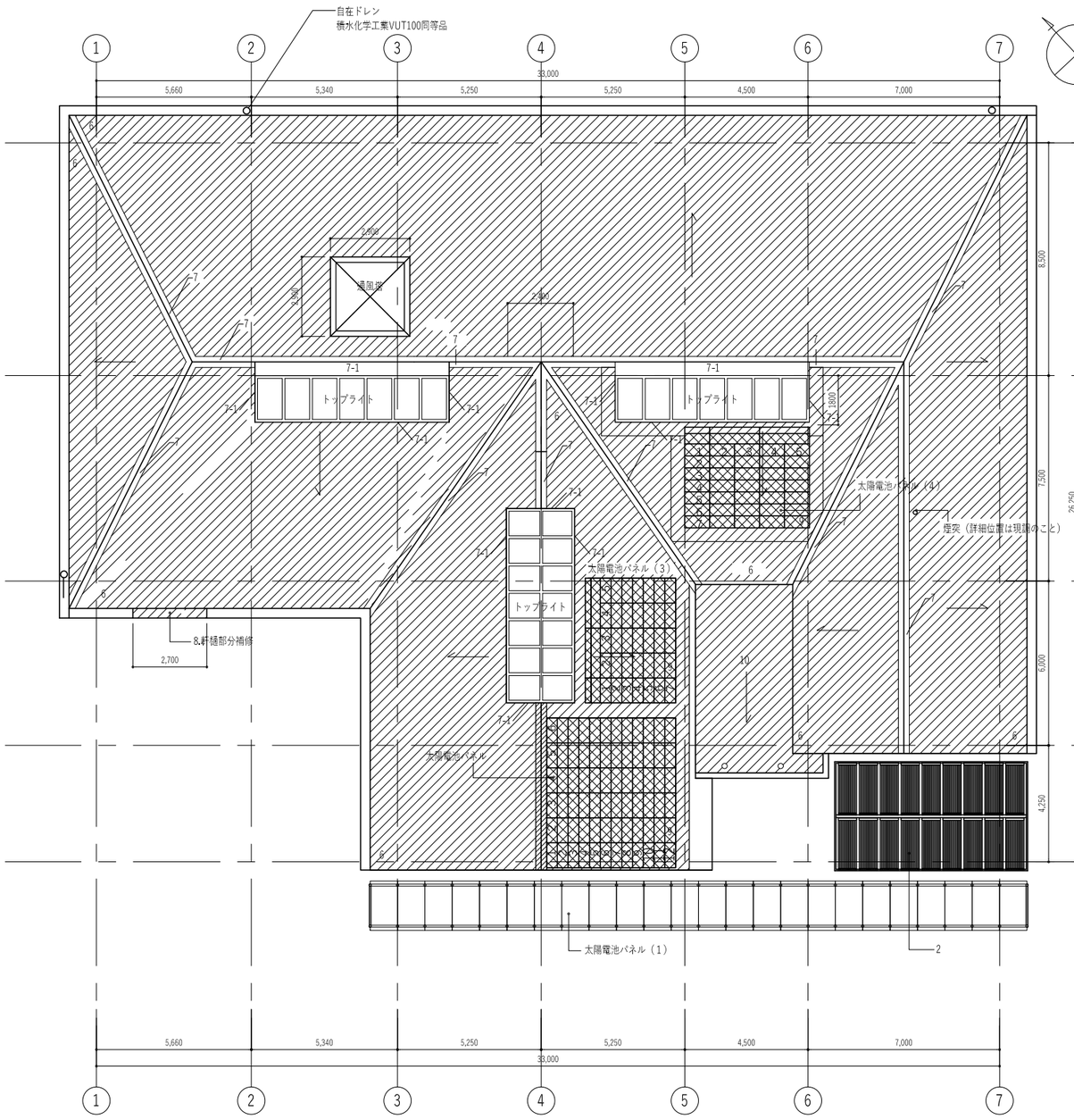


改修工事図

番号	撤去工事内容	備考
6	石綿ノンアスベスト板、野地板、タルキ撤去	
7	棟包撤去	
9	建材一体型ソーラーパネル、StPlt=0.6、ルーフィング、耐火野地板t18 撤去、建材一体型ソーラーパネル撤去	

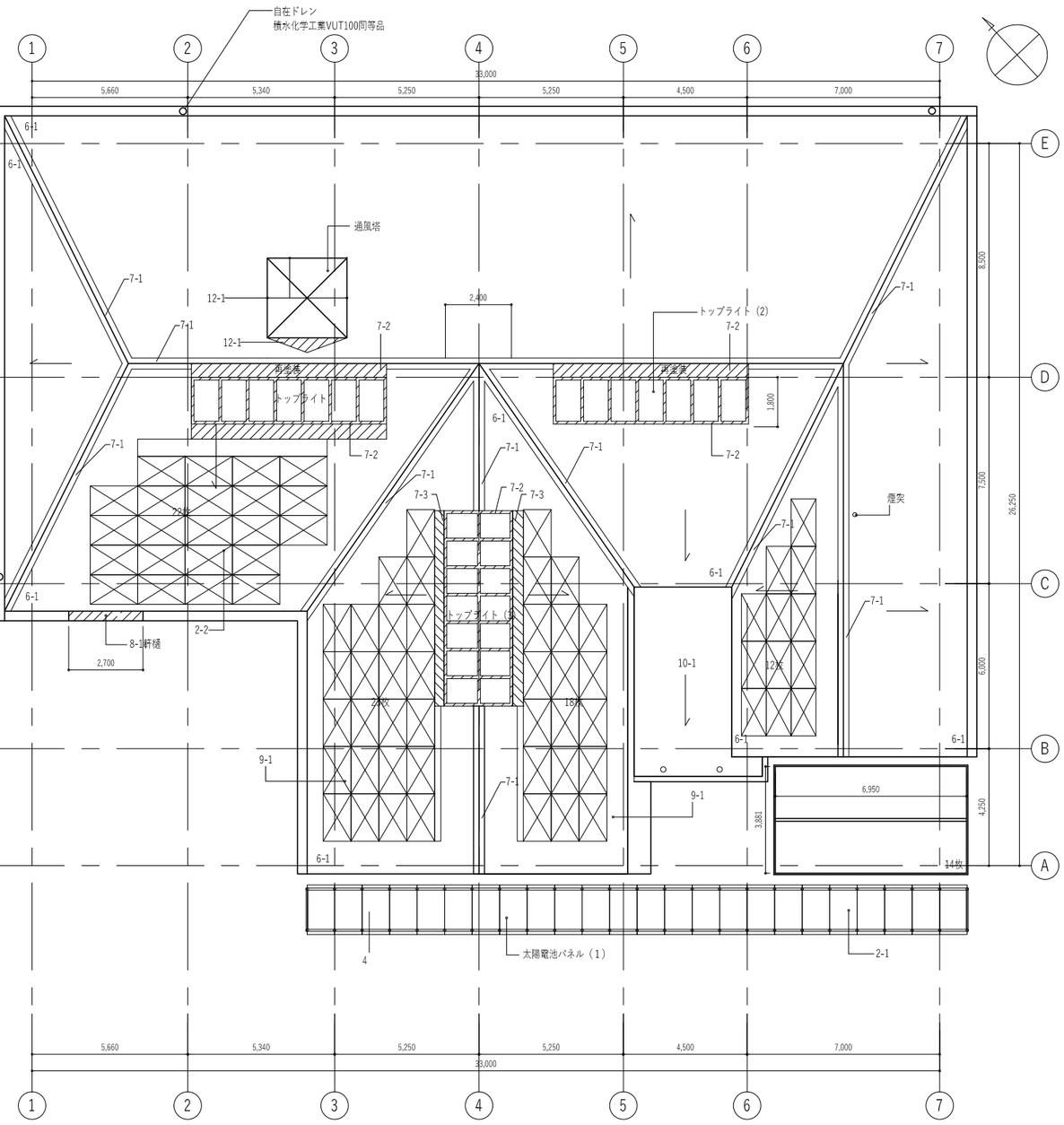
番号	改修工事内容	備考
6-1	屋根敷設	
7-1	棟包新設:カラーガルバニウム鋼板t0.5曲げ加工、トップライト水切り一体型金属屋根(7-3)	
9-1	建材一体型ソーラーパネル、StPlt=0.35敷設、ルーフィング敷設、耐火野地板t18敷設 105枚	

工事名称	令和５年度新宿御苑管理事務所等防災機能強化改修工事			工事年度		令和５年度
工事場所	東京都新宿区内藤町11			図面名称		断面図　撤去・改修図
発注機関	環境省　新宿御苑管理事務所			縮　尺		S=1:200
公園名称	新宿御苑			図面番号		A-14
検　印	管理建築士	設　計	製　図	設計者	名　称	宇建築設計事務所一級建築士事務所
					資格者氏名	岡本　治子
					登録番号	一級建築士　356094号
					所在地	神奈川県川崎市高津区久末1778-1-420



撤去工事図

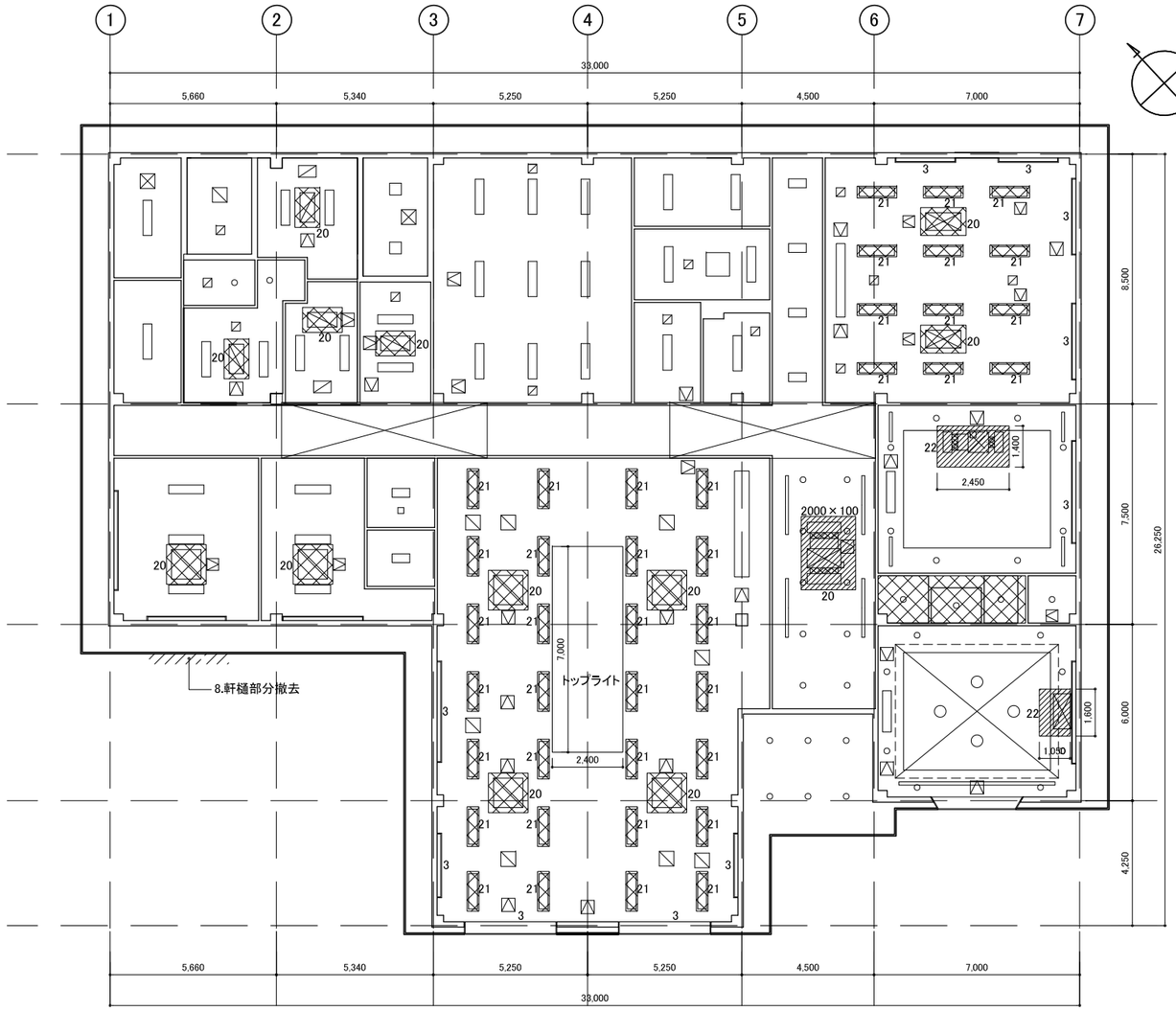
番号	撤去工事内容	備考
2	太陽光集熱パイプ撤去	
6	石綿ノンアスベスト板、ルーフィング、耐火野地板t18 撤去	
7	棟包撤去(7)、トップライト水切り撤去(7-2)	
8	既設雨樋の一部撤去	
9	建材一体型ソーラーパネル、StPlt=0.6、ルーフィング、耐火野地板t18 撤去、建材一体型ソーラーパネル撤去	
10	アスファルト防水、耐火野地板t18 撤去	



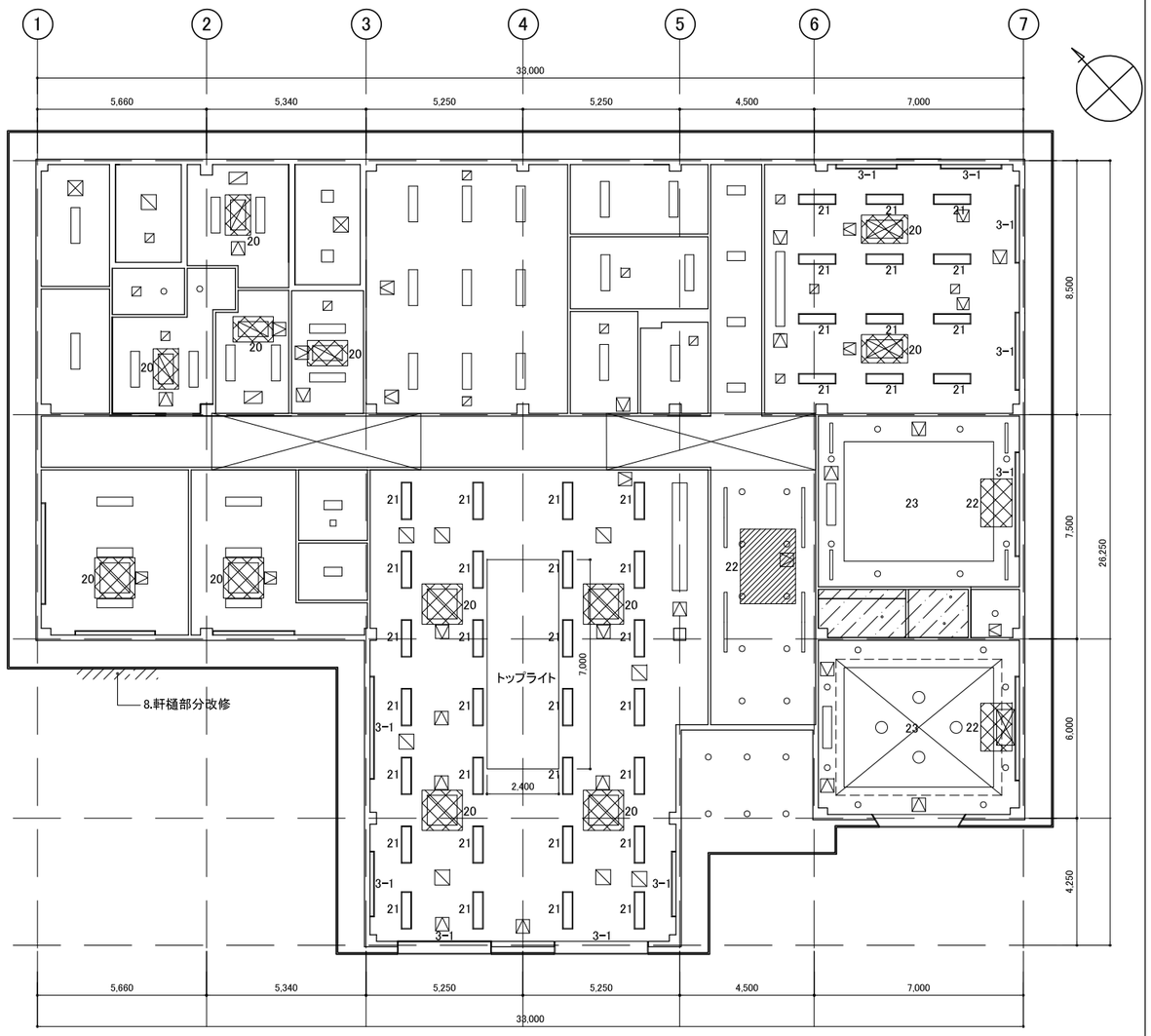
改修工事図

番号	改修工事内容	備考
2-1	ガラスクリーニング	
6-1	屋根敷設(雪止め千鳥2段を含む)	
7-1	棟包新設:カラーガルバニウム鋼板t0.35曲げ加工、トップライト水切り一体型金属屋根(7-3)	
7-2	StPl t0.35曲げ加工新設	
7-3	StPl t0.35曲げ加工新設	
8-1	雨樋新設	
9-1	建材一体型ソーラーパネル、StPlt=0.35敷設、ルーフィング敷設、耐火野地板t18敷設 74枚(410W×75枚＝30.75KW)	
10-1	アスファルト防水、耐火野地板t18敷設	
12-1	水切りカラーガルバニウム鋼板t0.35曲げ加工	

工事名称	令和５年度新宿御苑管理事務所等防災機能強化改修工事			工事年度	令和５年度
工事場所	東京都新宿区内藤町11			図面名称	屋根伏図　撤去・改修図
発注機関	環境省　新宿御苑管理事務所			縮　尺	S=1:200
公園名称	新宿御苑			図面番号	A-15
検　印	管理建築士	設　計	製　図	設計者	名　称：宇建築設計事務所一級建築士事務所
					資格者氏名：岡本　治子
					登録番号：一級建築士　356094号
					所在地：神奈川県川崎市高津区久末1778-1-420



撤去工事図



改修工事図

天井撤去(LGS含む)の後、機器更新(開口補強含む)

天井撤去(LGS含む)の後、空調機更新(開口補強含む)

天井復旧

天井・LGS復旧

AEP塗装仕上

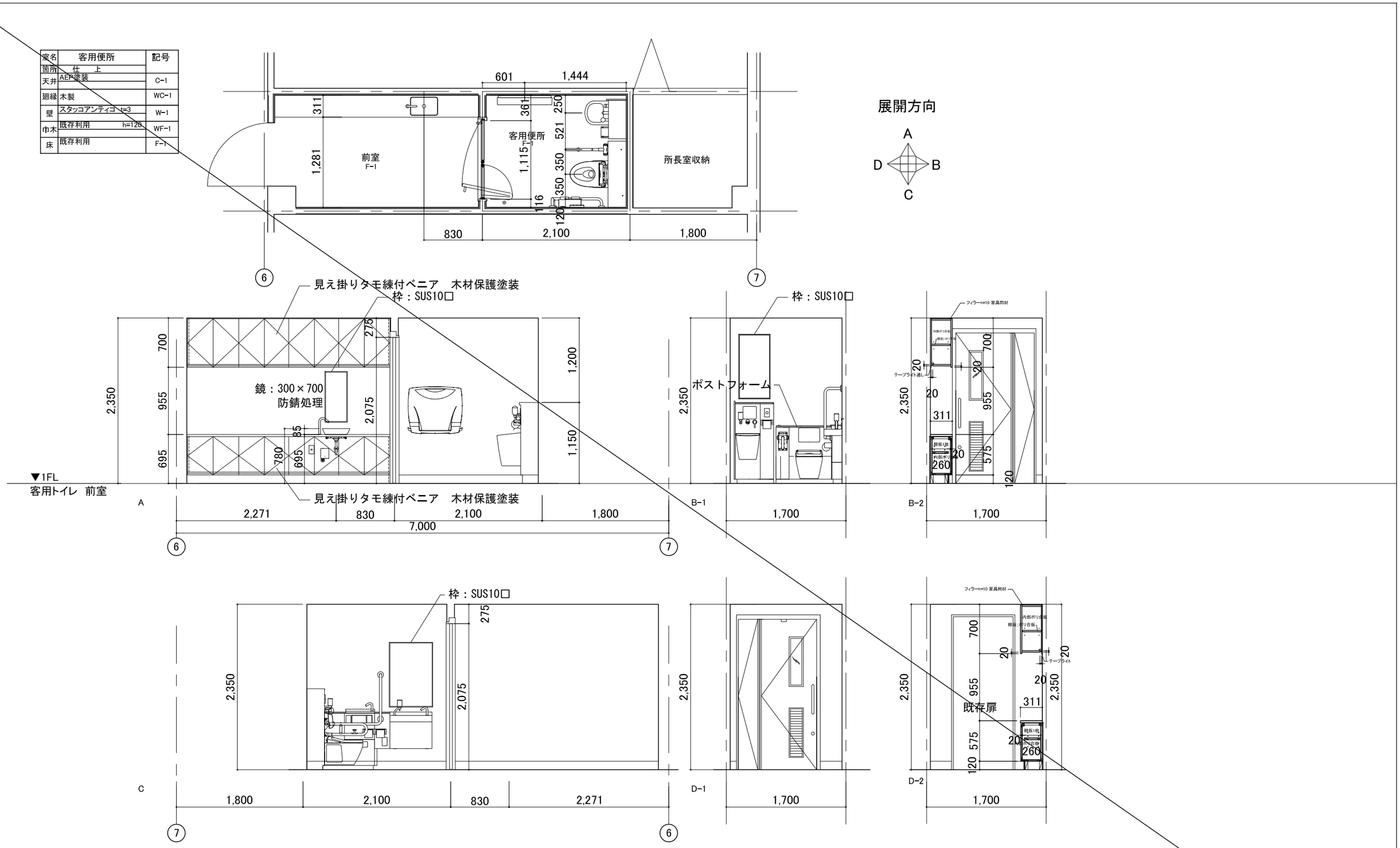
番号	撤去工事内容	備考
20	天井、LGS撤去	
21	照明器具取り外し	
22	天井、LGS撤去	
3	付額縁撤去	
8	既設雨樋の一部撤去	

番号	改修工事内容	備考
20	LGS新設、プラスターボード貼り、天井開口補強、点検口設置(目地タイプ)、断熱材復旧	
21	タモ無垢トラフ設置の上照明復旧、LGS新設、プラスターボード貼り、天井開口補強、断熱材復旧	
22	LGS新設、プラスターボード貼り、天井開口補強、断熱材復旧	
23	応接室・所長室は折上天井復旧	
3-1	サッシ額縁新設(木材t=25、自然色木材保護塗装)	
8-1	雨樋新設	

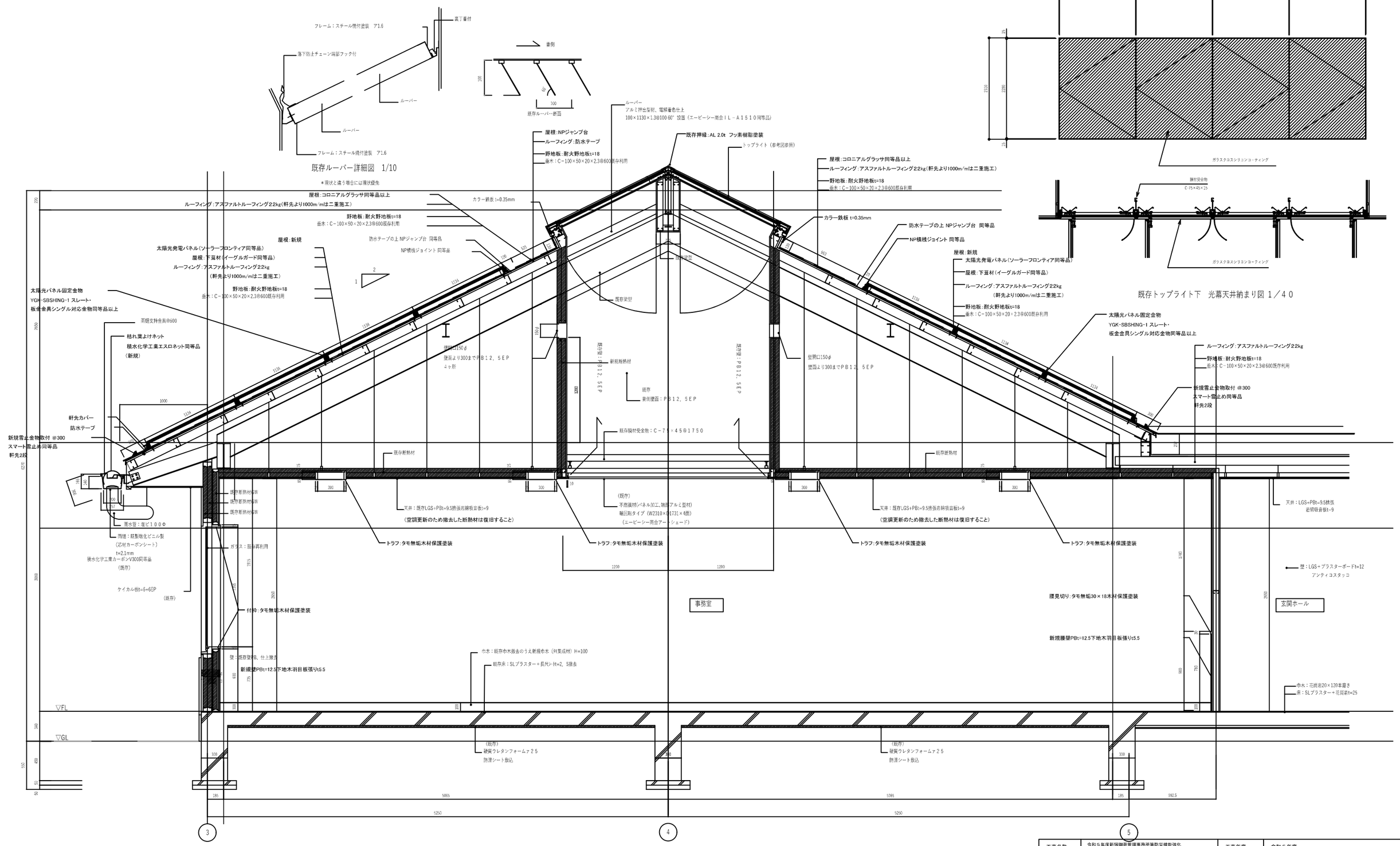
天井開口補強リスト	
	天井点検口450□
	1200×300
	200Φ
	300□
	500□
	600×400
	1000×500
	1200×600
7-2、10、13-2は図中に表記。	

工事名称	令和５年度新宿御苑管理事務所等防災機能強化改修工事			工事年度	令和５年度
工事場所	東京都新宿区内藤町11			図面名称	１階天井伏図　撤去・改修図
発注機関	環境省　新宿御苑管理事務所			縮　尺	S=1:200
公園名称	新宿御苑			図面番号	A-16
検　印	管理建築士	設　計	製　図	設計者	名　称：宇建築設計事務所一級建築士事務所
					資格者氏名：岡本　治子
					登録番号：一級建築士　356094号
					所在地：神奈川県川崎市高津区久末1778-1-420

室名	客用便所	記号
箇所	仕　上	
天井	AEP塗装	C-1
廻縁	木製	WC-1
壁	スタッコアンティコ　t=3	W-1
巾木	既存利用　h=120	WF-1
床	既存利用	F-1



工事名称	令和5年度新宿御苑管理事務所等防災機能強化改修工事			工事年度	令和５年度
工事場所	東京都新宿区内藤町11			図面名称	客用便所詳細図・事務室,会議室腰壁詳細
発注機関	環境省　新宿御苑管理事務所			縮　尺	S=1:50,30
公園名称	新宿御苑			図面番号	A-17
検　印	管理建築士	設　計	製　図	設計者	名　称：宇建築設計事務所一級建築士事務所
					資格者氏名：岡本　治子
					登録番号：一級建築士　356094号
					所在地：神奈川県川崎市高津区久末1778-1-420



工事名称	令和５年度新宿御苑管理事務所等防災機能強化改修工事			工事年度	令和５年度
工事場所	東京都新宿区内藤町11			図面名称	矩計図1
発注機関	環境省　新宿御苑管理事務所			縮　尺	S=1:40
公園名称	新宿御苑			図面番号	A-18
検　印	管理建築士	設　計	製　図	設計者	名　称：宇建築設計事務所一級建築士事務所
					資格者氏名：岡本　治子
					登録番号：一級建築士　356094号
					所在地：神奈川県川崎市高津区久末1778-1-420